

令和 7 年度
羽村市教育委員会の権限に属する事務
の管理及び執行の状況の点検及び評価
(令和 6 年度分) 報告書

令和 7 年 8 月
羽村市教育委員会

目 次

1	羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の実施について	1
2	羽村市教育委員会教育目標	2
3	事務事業の点検・評価	6
	子どもたちの育成	6
	地域資源の活用	26
	多様な学習の展開	37
	生涯学習の支援	57
4	点検・評価に関する学識経験者からの意見	71
5	教育委員会の活動の状況	80
	教育委員会の審議事項等	80
	教育委員会委員の主な活動報告	84
	教育委員会学校訪問	87
	資料編	88

1 羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

(1) 点検・評価の目的

羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

また、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

(2) 点検・評価の対象

令和6年度羽村市教育委員会の教育目標に基づく次の4つの基本施策に掲げる主な事務事業を対象とする。

（基本施策1）子どもたちの育成

（基本施策2）地域資源の活用

（基本施策3）多様な学習の展開

（基本施策4）生涯学習の支援

(3) 点検・評価の実施方法

ア 点検・評価は、前年度の教育委員会の主な事務事業の取組状況を総括するとともに、課題や今後の取組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。

イ 事務事業の進捗状況等を取りまとめ、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取したうえで、教育委員会が点検・評価を行う。

ウ 教育委員会において、点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を羽村市議会へ提出するとともに、その報告書を市民に公表するものとする。

2 羽村市教育委員会教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない。

同時に、教育は、社会の変化に対応して絶えずそのあり方を見直していかなければならないものであり、経済・社会のグローバル化、情報技術革命、地球環境問題、少子高齢化など、時代の変化に主体的に対応し、日本の未来を担う人間を育成する教育が重要になっている。

また、誰もが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

羽村市教育委員会は、このような考え方に立って、以下の「教育目標」に基づき、積極的に教育行政を推進していく。

教育目標

羽村市教育委員会は、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる生涯学習社会の実現を図る。

また、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願うとともに、明日の羽村をつくる能力や態度の育成を目指し、

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育を推進する。

そして、教育は、学校・家庭・地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行わなければならないものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

羽村市教育委員会の基本方針

羽村市教育委員会は、先の「教育目標」を実現するため、次の4つの基本方針を基に、教育施策を実施していく。

基本方針 1

「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての大人、子どもたちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。

そのために、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

基本方針 2

「豊かな個性」と「創造力」の伸長

グローバル化と情報技術革命が進展する中で、国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、子どもたち一人ひとりに個別最適化された学びを提供し、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性などの資質・能力を育成することが求められる。

そのために、多様な教育ニーズに配慮し、基礎的な学力の向上を図り、子どもたちの豊かな個性と創造力を伸ばすため、小中一貫教育を柱とした特色ある教育を推進する。

基本方針 3

「市民の教育参画」と「総合的な教育力」の充実

学校・家庭・地域の連携、協力とすべての市民の教育参画を進め、子どもたちの健やかな成長を地域社会全体で支えるとともに、市民の感覚と学校経営の感覚をより重視して、教育行政を力強く展開することが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民に信頼される魅力ある学校づくりを支援する。

基本方針 4

「生涯学習」の推進

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することができ、その成果を適切に活かすことができる環境を整えることが求められる。

そのために、第二次羽村市生涯学習基本計画に基づき、生涯学習施策の総合的かつ計画的な推進を図る。

令和6年度 教育委員会の主な事務事業

1 子どもたちの育成

- ・子育て関係講座等の充実 <生涯学習推進課>
- ・家庭教育関連情報の提供と啓発 <生涯学習推進課>
- ・小中一貫教育の推進 <学校教育課>
- ・道徳教育の充実 <学校教育課>
- ・健康な体づくりの推進 <学校教育課>
- ・ICT 機器を活用した教育の推進 <学校教育課>
- ・スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施 <学校教育課>
- ・物価高騰対策としての学校給食費保護者負担軽減補助事業の実施
<学校教育課>
- ・コミュニティ・スクールの導入・運用 <学校教育課>
- ・部活動の地域連携・地域移行の推進 <学校教育課>
- ・放課後子ども教室の充実 <生涯学習推進課>
- ・学校ホームページのリニューアル <学校教育課>
- ・特別支援教育推進体制の整備 <教育支援課>
- ・特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施 <教育支援課>
- ・教育相談体制の充実 <教育相談室>
- ・家庭と子どもの支援員の活用推進 <教育相談室>

2 地域資源の活用

- ・市内事業所等と協力した社会体験事業の実施 <生涯学習推進課>
- ・人材バンク登録制度の活用 <生涯学習推進課>
- ・図書館ボランティアの育成と支援 <図書館>
- ・学びのきっかけとなる講座の実施 <生涯学習推進課>
- ・地域学校協働本部の活用 <学校教育課>
- ・生涯学習に関係する資格等の情報提供 <生涯学習推進課>
- ・企画展の開催 <郷土博物館>
- ・郷土学習のための講座等の実施 <郷土博物館>
- ・文化財に関する情報提供 <郷土博物館>
- ・登録郷土研究員の活用 <郷土博物館>
- ・展示説明員の育成と活用 <郷土博物館>

3 多様な学習の展開

- ・芸術文化の鑑賞機会の提供 <生涯学習推進課>
- ・芸術文化の体験事業の提供 <生涯学習推進課>
- ・市ゆかりの芸術家の作品展の実施 <生涯学習推進課>
- ・ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施 <生涯学習推進課>
- ・活動成果の発表機会の提供 <生涯学習推進課>
- ・子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供 <スポーツ推進課>
- ・スポーツ活動の機会の提供 <スポーツ推進課>
- ・指導者の養成と資質の向上支援 <スポーツ推進課>
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興 <スポーツ推進課>
- ・障害者スポーツの普及啓発 <スポーツ推進課>
- ・図書館業務体験事業の実施 <図書館>
- ・読書への意欲を高めるための講座等の実施 <図書館>
- ・読書手帳の活用 <図書館>
- ・図書館資料活用の推進 <図書館>
- ・「家読（うちどく）」事業等の実施 <図書館>
- ・学校と連携した読書活動への支援 <図書館>
- ・国際理解や多文化共生に関する講座等の実施 <生涯学習推進課>
- ・高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援 <生涯学習推進課>
- ・健康に関する講座等の実施 <スポーツ推進課>
- ・青年学級事業の実施 <生涯学習推進課>

4 生涯学習の支援

- ・文化団体の活動支援 <生涯学習推進課>
- ・スポーツ団体の活動支援 <スポーツ推進課>
- ・団体への補助金の交付 <生涯学習推進課、スポーツ推進課>
- ・団体等の活動情報の収集・提供 <生涯学習推進課>
- ・団体等の情報発信支援 <生涯学習推進課>
- ・生涯学習関連情報の発信
<生涯学習総務課、生涯学習推進課、スポーツ推進課>
- ・生涯学習まちづくり出前講座の活用促進 <生涯学習推進課>
- ・企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施
<生涯学習推進課>
- ・生涯学習コーディネート機能の運用 <生涯学習推進課>
- ・学校施設の計画的な改修工事の実施 <生涯学習総務課>
- ・羽村市立小学校体育館冷暖房空調設備の設置 <生涯学習総務課>
- ・スポーツセンターの管理運営方法の検討 <スポーツ推進課>
- ・校務用パソコンの更新及びインターネット閲覧環境整備 <学校教育課>

3 事務事業の点検・評価

令和7年度の点検・評価対象事業（令和6年度分）は、令和6年度教育委員会の教育目標に掲げる主な事務事業とする。

方向性1 子どもたちの育成

No.	実施事業名	担当課	評価
1	子育て関係講座等の充実	生涯学習推進課	B
2	家庭教育関連情報の提供と啓発	生涯学習推進課	A
3	幼・保・小の連携による円滑な接続の支援	子育て支援課 教育支援課	A
4	小中一貫教育の推進	学校教育課	A
5	道德教育の充実	学校教育課	A
6	健康な体づくりの推進	学校教育課	B
7	ICT機器を活用した教育の推進	学校教育課	A
8	スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の試行実施	生涯学習総務課 学校教育課	A
9	コミュニティ・スクールの導入・運用	学校教育課	A
10	部活動の地域連携・地域移行の推進	学校教育課	A
11	放課後子ども教室の充実	生涯学習推進課	A
12	学校ホームページのリニューアル	学校教育課	A
13	特別支援教育推進体制の整備	教育支援課	A
14	特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施	教育支援課	A
15	教育相談体制の充実	教育相談室	A
16	家庭と子どもの支援員の活用推進	教育相談室	A

方向性2 地域資源の活用

No.	実施事業名	担当課	評価
17	市内事業所等と協力した社会体験事業の実施	生涯学習推進課	B
18	人材バンク登録制度の活用	生涯学習推進課	D
19	図書館ボランティアの育成と支援	図書館	B
20	学びのきっかけとなる講座の実施	生涯学習推進課	A
21	地域学校協働本部の活用	学校教育課	A
22	生涯学習に関係する資格等の情報提供	生涯学習推進課	B
23	企画展の開催	郷土博物館	A
24	郷土学習のための講座等の実施	郷土博物館	A
25	文化財に関する情報提供	郷土博物館	A
26	登録郷土研究員の活用	郷土博物館	A
27	展示説明員の育成と活用	郷土博物館	A

方向性3 多様な学習の展開

No.	実施事業名	担当課	評価
28	芸術文化の鑑賞機会の提供	生涯学習推進課	A
29	芸術文化の体験事業の提供	生涯学習推進課	B
30	市ゆかりの芸術家の作品展の実施	生涯学習推進課	A
31	ゆとろぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施	生涯学習推進課	A
32	活動成果の発表機会の提供	生涯学習推進課	A
33	子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供	子育て相談課 スポーツ推進課	A
34	スポーツ活動の機会の提供	スポーツ推進課	A
35	指導者の養成と資質の向上支援	スポーツ推進課	A
36	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興	スポーツ推進課	A
37	障害者スポーツの普及啓発	スポーツ推進課	A
38	図書館業務体験事業の実施	図書館	A
39	読書への意欲を高めるための講座等の実施	図書館	A
40	読書手帳の活用	図書館	A
41	図書館資料活用の推進	図書館	A
42	「家読（うちどく）」事業等の実施	図書館	A
43	学校と連携した読書活動への支援	図書館	A
44	国際理解や多文化共生に関する講座等の実施	生涯学習推進課	B
45	高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援	生涯学習推進課	B
46	健康に関する講座等の実施	スポーツ推進課	A
47	青年学級事業の実施	生涯学習推進課	A

方向性4 生涯学習の支援

No.	実施事業名	担当課	評価
48	文化団体の活動支援	生涯学習推進課	A
49	スポーツ団体の活動支援	スポーツ推進課	A
50	団体への補助金の交付	生涯学習推進課 スポーツ推進課	A
51	団体等の活動情報の収集・提供	地域振興課 生涯学習推進課	A
52	団体等の情報発信支援	生涯学習推進課	A
53	生涯学習関連情報の発信	生涯学習総務課	A
		生涯学習推進課	A
		スポーツ推進課	A
54	生涯学習まちづくり出前講座の活用促進	生涯学習推進課	A
55	企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施	生涯学習推進課	A
56	生涯学習コーディネート機能の運用	生涯学習推進課	A
57	学校施設の計画的な改修工事の実施	生涯学習総務課	A
58	羽村市立小学校体育館冷暖房空調設備の設置	生涯学習総務課	A
59	スポーツセンターの管理運営方法の検討	スポーツ推進課	A
60	校務用パソコンの更新及びインターネット閲覧環境整備	学校教育課	A

実施事業

子育て関係講座等の充実

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 1事業		
目標(指標)	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	家庭教育セミナー(子育て講座)の実施 ○参加者数11組(大人11人、子ども9人)／ 定員20組(会場:プリモホールゆとろぎ 講座室1)…55% ○参加者の満足度…大人63%、子ども55%		
成果・効果	羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、「親子で学ぼう! 家庭での防災・安全対策」をテーマに家庭教育セミナーを実施することができた。 国土交通省、防災安全課、株式会社 創味食品と連携し、羽村の地域特性を踏まえた防災・安全対策について、親子で一緒に学ぶ機会とすることができた。		
評価(達成度)	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		PTAと連携し、保護者と子供が参加しやすいよう、開催時期や会場、遊びや体験を交えるなど内容を工夫して実施した。参加率は55%と前年度(41%)よりも増やすことができたが、さらに増やせるよう工夫が必要である。引き続き、羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携し、ニーズに合わせた家庭教育に関するセミナーを開催していく。	

実施事業

家庭教育関連情報の提供と啓発

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一步」の配布 ○市公式サイトでの周知		
目標（指標）	○就学児健診での「家庭教育ははじめの一步」の配布 小学校全7校 420部		
取組実績	○就学児健診で「家庭教育ははじめの一步」を配布 全小学校（7校） ○市公式サイトに「家庭教育ははじめの一步」を掲載		
成果・効果	保護者に対して家庭での教育に関する情報提供を行い、子供たちが健やかに社会へ巣立つための家庭教育を考えるきっかけすることができた。 冊子は、市公式サイト of 二次元コードを掲載し、スマートフォンから家庭教育に関する情報にアクセスしやすくする取組を行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、保護者に対し家庭教育に関する情報提供を行う。また、保護者が家庭教育に関する情報に気軽にアクセスするための手法等について検討する。		

実施事業

幼・保・小の連携による円滑な接続の支援

【担当課】子育て支援課、教育支援課

【関連課】学校教育課

令和6年度 の 事業 内容	幼稚園、保育園、小学校が相互に連携・協力し、幼稚園、保育園と小学校の円滑な接続が可能となるよう、現状の把握、対応方法の検討、特別支援教育の理解を含めた情報共有・意見交換等を実施する。		
目 標（指 標）	○年長児から小学校1年生への円滑な接続に関する情報共有・意見交換の実施 年3回 ○幼稚園・保育園等及び小学校の教員等の相互訪問・状況把握の実施 （令和6年度は小学校訪問）		
取 組 実 績	令和6年4月22日、10月22日、令和7年2月25日に会議を開催 令和6年5月には市内全ての小学校で小学校訪問を実施。訪問の中で意見交換も行った。 年長児から小学校1年生の接続を円滑にするため、架け橋期カリキュラムをもとに各園・学校における取組や考え方などを共有した。		
成 果 ・ 効 果	実際にどのような学校生活を行っているのかを確認することができ、意見交換によって相互理解を深められ、学校での支援が見えたことや、卒園後の子供の成長を直接見られたことにより、支援のつながりを実感したという声が多数上がった。架け橋期カリキュラムを共有し、子供の学びを繋いでいく意識の向上が図れた。		
評 価（達 成 度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課 題 ・ 対 応	幼保小の連携では学童クラブとも連携強化を図っていく必要があるため、次年度以降は学校訪問への同行等、子供の支援の充実につなげられるようにしていく。保育現場や教育現場からの意見を反映させながら、架け橋期カリキュラムの改訂を実施していく。		

実施事業	
小中一貫教育の推進	（2-2）

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度 の 事業内容	小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成した義務教育9年間のカリキュラム等について、市教育研究会と連携し、実践に向けた検証を行う。		
目標（指標）	〇市教育研究会と連携したカリキュラム等の授業実践の実施		
取組実績	〇市教育研究会と連携し、小中一貫教育カリキュラム等開発委員会で作成したカリキュラムについて、効果検証を図り、授業実践に向けた研究を行った。		
成果・効果	義務教育9年間のカリキュラムを意識した授業の実践研究を行った。 市教育研究会を中心に、小中一貫カリキュラム等開発委員会で作成した資料等を活用した授業を行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	今後も、教育研究会と連携を図り、義務教育9年間のカリキュラム等の実践に取り組む、また、各学校が実施する連携授業について、更なる充実に向けた支援を行う。		

実施事業

道徳教育の充実

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度 事業内容	特別の教科である道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図ることで、自己の生き方を考え、主体的な判断のもと、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 また、道徳教育への保護者や地域の理解及び連携を促進させるため、道徳授業地区公開講座における保護者や地域との意見交換会等の実施と充実に取り組んでいく。	
目標（指標）	○道徳授業地区公開講座における意見交換会等の実施 小・中学校（全10校）	
取組実績	各学校において道徳授業地区公開講座を実施し、学校で行われている道徳授業の公開と保護者や地域との意見交換を行った。	
成果・効果	保護者や地域の方の理解促進につなげるための道徳授業地区公開講座を開催し、道徳授業の公開及び保護者地域の方々と意見交換をすることで、道徳授業の理解促進と更なる授業力の向上を図ることができた。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
課題・対応		— 未実施
		引き続き、道徳授業地区公開講座を開催するとともに、保護者や地域との意見交換も継続的に実施する。また、保護者や地域の方の理解促進のため、道徳授業地区公開講座の趣旨等をまとめた資料を作成し、活用していく。

実施事業

健康な体づくりの推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度 の 事業 内 容	体育に関する指導において、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくとともに、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるよう、10月の体力行動努力月間や日ごろの活動を通じて取り組んでいく。 健康に関する指導において、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に取り組んでいく。		
目 標（指 標）	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和5年度 小5 男子94.5% 女子90.8% 中2 男子90.1% 女子76.5%		
取 組 実 績	○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合の前年度からの向上 令和6年度 小5 男子93.8% 女子92.4% 中2 男子89.2% 女子75.4%		
成 果 ・ 効 果	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する肯定的意識割合は、全国や都の平均値よりも高く、普段の指導の成果が結果として出ていると言えるが、市として経年で見ると、小学校5年生女子は前年度から向上し、5年生男子は低下した。中学校2年生は男女とも前年度に比べ低下した。		
評 価（達 成 度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課 題 ・ 対 応	引き続き、体育及び健康に関する指導を通じて、健康な体づくりを推進していく。 なお、国及び東京都の平均値は次のとおり。 小5 男子(国:93.2%、都:93.7%) 女子(国:86.2%、都:88.5%) 中2 男子(国:90.6%、都:90.8%) 女子(国:76.9%、都:78.6%)		

実施事業

ICT機器を活用した教育の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度 事業内容	1人1台端末などのICT機器を教育活動の様々な場面で活用し、「一人一人の理解度や学習進度に応じた学び」や「主体的・対話的で深い学び」を充実させることで、多様な子どもたちの個別最適な学びの実現に向け、誰一人取り残すことなく取り組んでいく。		
目標（指標）	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人 ○学習支援ドリルの運用		
取組実績	○GIGAスクールサポーターの配置 1人 ○ICT支援員の配置 2人 ○学習支援ドリルの運用		
成果・効果	GIGAスクールサポーター及びICT支援員（授業支援・運用アドバイス等）を配置し、ICTに関する専門的・技術的な支援を行い、ICT機器を活用した効果的な授業を実践することができた。また、学習支援ドリルを活用することで、一人一人の理解度や学習進度に応じた学習を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、GIGAスクールサポーター及びICT支援員を配置し、ICT機器を活用した教育活動の充実を図るとともに、学習支援ドリルを活用し、個の理解度に応じた学習ができる機会を確保する。	

実施事業	
スイミングセンターを活用した小学校水泳授業の実施	水泳部

【担当課】学校教育課

【関連課】生涯学習総務課、スポーツ推進課

令和6年度の 事業内容	スイミングセンターで、小学校水泳授業(指導員による指導を含む)を実施する。 ○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)		
目標(指標)	○水泳授業の実施日数:武蔵野小学校15日、松林小学校5日		
取組実績	○小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)において、スイミングセンターでの水泳授業を実施した。 ・実施日数 通常の学級 松林小学校 5日(期間:5月~7月) 武蔵野小学校 16日(期間:7月~10月) 特別支援学級 松林小学校・武蔵野小学校合同 5日(7月~9月) ・移動方法 松林小学校 徒歩(隣接) 武蔵野小学校 バス送迎		
成果・効果	・屋内プールを活用したことで、天候等の影響に関係なく授業を行うことができた。 ・専門指導員による指導により、安全管理で各児童のレベルにあった水泳授業を実施することができた。 ・教員の水泳授業に係る負担を軽減することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
	—	未実施	
課題・対応	水泳授業の外部委託については有効的であることから、引き続き小学校2校(松林小学校、武蔵野小学校)の水泳授業はスイミングセンターで実施していくとともに、他学校についても実施に向けた準備が整い次第、実施していく。		

実施事業

コミュニティ・スクールの導入・運用

【担当課】学校教育課

【関連課】生涯学習推進課

令和6年度の 事業内容	全小・中学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)を導入し、地域住民や保護者の学校運営への参画を促進し、地域に根差した特色ある学校づくりに取り組む。		
目標（指標）	○コミュニティ・スクールの導入 8校(2校は令和5年度導入済み) ○教員・市民対象のコミュニティ・スクール研修の実施 1回 ○コミュニティ・スクールの運用 10校		
取組実績	○コミュニティ・スクールの導入 8校(羽村東小学校、羽村西小学校、富士見小学校、松林小学校、小作台小学校、武蔵野小学校、羽村第二中学校、羽村第三中学校) ○コミュニティ・スクール委員会委員を対象とした研修の実施 1回 ○コミュニティ・スクールの運用 全10校		
成果・効果	全10校全てがコミュニティ・スクールとなり、各学校において、コミュニティ・スクール委員会を開催し、学校の現状・課題を踏まえたうえでの教育活動について意見を交わし、定期考査前の学習会の実施などの取組につなげることができた。 コミュニティ・スクール委員会委員対象の研修会では、他学校の委員同士での情報交換も行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	円滑にコミュニティ・スクールの運用ができるよう、伴走支援を行う。		

実施事業

部活動の地域連携・地域移行の推進

【担当課】学校教育課

【関連課】生涯学習推進課、スポーツ推進課

令和6年度の事業内容	市内のスポーツ団体、文化・芸術団体等と連携し、部活動の地域移行に向けた取組を進める。		
目標（指標）	○市内のスポーツ団体、文化・芸術団体等との連携の推進 ○市民への周知（説明会・協議会の実施） ○地域と連携して実施する部活動の実施（10団体程度）		
取組実績	○中学校と市内スポーツ団体、文化・芸術団体等との連携・協働の推進 ○地域と連携して実施する部活動「TEAMはむら」の決定（令和7年度から活動開始） ○拠点校方式等で実施する部活動の調整 ○説明会の実施		
成果・効果	市内のスポーツ団体、文化・芸術団体と連携し、令和7年度から地域展開をして実施する活動を「TEAMはむら」に決定した。 年度末に、地域・保護者説明会を2回実施し、市としての今後の部活動地域展開について伝え、理解促進を図ることができた。 令和7年度から3団体が先行的に地域展開をスタートさせることができた。他に7団体程度、次なる地域展開に向けて合同での活動や具体的な準備を進めることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	「TEAMはむら」として活動する団体の支援を行うとともに、地域展開に向けて、拠点校方式等で実施する部活動の調整等を行う。		

実施事業

放課後子ども教室の充実

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○放課後子ども教室スタッフ研修の実施		
目標（指標）	○年3回程度		
取組実績	年3回研修実施（参加対象：放課後子ども教室主任指導員・指導員 約47人） ①第1回研修「放課後子ども教室における発達に特性のある児童の理解と支援」 実施日：7月4日（木） 参加者数：31人 満足度：97%が「大変良かった」「良かった」 ②第2回研修「子供の困った言動へのアプローチ」 実施日：12月2日（火） 参加者数：31人 満足度：100%が「大変良かった」「良かった」 ③学童クラブ合同研修会「発達障害等、特別な支援を必要とする児童への対応等」 実施日：2月19日（水） 参加者数：27人 満足度：99%が「大変良かった」「良かった」 この他、特別支援教育講演会、（公財）明治安田こころの健康財団との共催によるオンライン研修の情報提供を行った。		
成果・効果	年3回、異なった視点から、子供の発達に関する理解や特別な配慮が必要な子供に対する対応について学ぶ機会をつくることができた。 参加者からは、「一人ひとりの子どもをより深く理解する大切さを学ぶことができた」「実践的な対応方法は参考になる」といった感想が寄せられた他、応急処置など別のテーマの研修の継続を希望する声があった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	子供の対応は多種多様なため、今後も継続的に研修の機会をつくり、指導員の知識を高めていく。		

実施事業

〔新規事業〕学校ホームページのリニューアル

22.10

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	利便性の向上、ユニバーサルデザインの確保、セキュリティ強化を目的として、市内全ての学校ホームページを全面リニューアルするとともに、ホームページ管理システムを導入し、学校ホームページの作成・管理のシステム化を図る。		
目標（指標）	○学校ホームページの全面リニューアル 小・中学校（全10校） ○ホームページ管理システムの導入		
取組実績	○学校ホームページの全面リニューアル 小・中学校（全10校） ○ホームページ管理システムの導入		
成果・効果	学校ホームページを全面リニューアルするとともにホームページ管理システムを導入し、利便性の向上、ユニバーサルデザインの確保、セキュリティの強化を図ることができた。 また、市と同様のコンテンツマネジメントシステムを導入したことにより、学校の負担軽減に繋げることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	より充実した情報公開ができるよう、伴走支援を行う。		

実施事業

特別支援教育推進体制の整備

2-10

【担当課】教育支援課

【関連課】学校教育課、教育相談室、子育て相談課

令和6年度 事業内容	全ての学校・学級に特別な指導・支援を必要とする児童・生徒が在籍するとの認識のもと、一人一人の児童・生徒が安心して豊かに学べる教育環境を整備し、特別支援教育推進体制を充実する。 ○介助員、支援員の配置 ○専門職を活用した就学、転学相談の充実		
目標（指標）	○就学・転学相談者の肯定的な回答 80%以上		
取組実績	○特別支援学級に特別支援教育介助員、通常の学級に特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育推進体制の充実を図った。（介助員23人、支援員30人） 特別支援教育支援員設置要綱について、要件を緩和して配置しやすいよう一部改正した。（R6.4.1施行） ○就学相談員を活用した就学・転学相談（90件）を実施した。 相談が終結した案件のうち、アンケート回答提出された55件の肯定的な回答は97.6%		
成果・効果	特別支援教育介助員及び特別支援教育支援員を学校に適切に配置し、障害理解につながる研修を実施し、支援を必要とする児童・生徒が安心して学ぶ環境を整備した。 就学・転学相談では就学相談員のきめ細かい聞き取りにより、相談者に寄り添った対応を推進し、相談体制の充実を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	特別支援教育介助員及び特別支援教育支援員を欠員のないよう適切に配置していく。 多様化する相談内容に対し、関係機関と連携して適切に対応していく。		

実施事業

特別支援教室の指導期間延長に係る発達検査の実施

【担当課】教育支援課

【関連課】教育相談室

令和6年度の 事業内容	○特別な教育的支援を必要とする児童・生徒が抱える困難の改善に向けて効果的に指導するため、特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒を対象に発達検査を実施する。		
目標（指標）	○指導期間延長の協議を令和7年1月末までに終了させる。		
取組実績	○令和6年度の特別支援教室における指導期間延長の協議件数は全51件。4月からの入室を確実にするため、このうち、44件(86%)の協議を令和7年1月末までに終了した。 ○発達検査を実施できる医療機関が少ない地域性や事情も考慮し、市の教育相談員による発達検査の計画的な実施体制を組み、令和7年2月に追加で7件(14%)の指導期間延長の協議を行い、特別支援教室を利用する児童・生徒の入室支援を行うことができた。		
成果・効果	教育活動の一部に特別な指導・支援を行う特別支援教室への入室・指導期間の延長等を要する児童・生徒に対し、適切な学びの場を保证することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		特別支援教室を利用する対象児童・生徒が増加傾向にあり、発達検査の需要が増加していることから、学校や保護者に対し、手続に要する期間等の情報発信を適切に行っていく。	

実施事業

教育相談体制の充実

【担当課】教育相談室

【関連課】教育支援課、学校教育課、子ども家庭支援センター

令和6年度の 事業内容	全児童・生徒を対象に実施する生活アンケートの結果を学校へ提供・活用することで、不登校等の未然防止・早期対応に向けたきめ細やかな教育相談体制を充実させる。		
目標（指標）	○不安や悩みを抱えていると分析した児童・生徒に関する情報の学校への提供		
取組実績	○アンケートの実施から内容把握・対応までの一層の迅速化を図るために、教育相談室から学校教育課へ実施体制を改めた。 ○全学校で児童・生徒を対象に、毎月実施する「生活アンケート」を活用し、学校生活・家庭生活や自尊感情等について、不安や悩みを抱える児童・生徒が選択式と自由記述を組み合わせで回答できるようにして早期発見・早期対応に努めた。 ○全学校でアンケート結果を自校内で迅速に確認を行うこととし、内容により個別対応を行うなど、不登校等の未然防止を含む教育相談体制の充実につなげた。 ○不安や悩みを一人で抱え込まず、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、SNS・電話相談等の相談資源を適切に選択できるよう校内掲示や配布物を通じて、全児童・生徒に周知を行った。		
成果・効果	学校ごとにアンケートを実施することで、児童・生徒の不安や悩みを迅速に把握し、早期発見・早期対応に向けた取組を行った。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等多職種連携による支援につなげることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		児童・生徒の心理的な実態を把握し、その結果から迅速な対応や見守りを行う必要があることから、生活アンケートを引き続き、適切に実施していく。	

実施事業

家庭と子どもの支援員の活用推進

【担当課】教育相談室

【関連課】学校教育課

令和6年度の 事業内容	各学校における別室登校、登校しぶり、不登校傾向の児童・生徒に対し、家庭と子どもの支援員の活用による支援を行う。		
目標（指標）	家庭と子どもの支援員活動時間 年間1,400時間		
取組実績	○登校しぶりや不登校傾向にある児童・生徒の登校支援や問題行動の未然防止のため、家庭と子供の支援員を市内全小・中学校に配置した。（10校17人、年間1,192時間） ○学校生活で生活指導上の課題を抱える児童・生徒へ直接関わるとともに、学校と家庭をつなぐ役割を担い、保護者への助言など、相談支援を行った。		
成果・効果	登校しぶりや生活指導上の課題を抱える児童・生徒の支援に対応し、学校と家庭をつなぎ、登校支援につながる相談、通学路での立哨など、児童・生徒の学校生活の安定につなげることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	家庭と子供の支援員の担い手不足などにより、欠員が生じないよう、人材確保が課題になってきている。		

実施事業

市内事業所等と協力した社会体験事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○市内事業所等による出前講座の実施 1事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇「東成エレクトロビーム(株)」「日都産業(株)」 実施日 令和6年11月24日 参加者数28人/申込者数32人/定員50人 参加率 56% 満足度 75%		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会が企画・運営を行い、市民を対象に市内事業者を知る出前講座を行い、2社の事業や社会的役割を学ぶことができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働で、市内事業所を知る講座を行っていく。 また、市内事業者を知ることから地域雇用にもつなげていくため、対象や周知方法について工夫していく。	

実施事業

人材バンク登録制度の活用

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	〇はむら人ネットガイドの発行 1回		
目標（指標）	〇新規登録者 3人 〇人材バンク利用 3件		
取組実績	〇はむら人ネットガイドの発行 1回 〇新規登録者 0人 〇人材バンク利用（問合せ） 0件		
成果・効果	はむら人ネットガイドを発行したが、新規登録者、人材バンク利用ともになかった。		
評価（達成度）	D	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	はむら人ネットガイドの内容や運用について検討する。		

実施事業

図書館ボランティアの育成と支援

【担当課】図書館

【関連課】

令和6年度の事業内容	○図書館ボランティアの受け入れ ○図書館ボランティア養成講座の実施		
目標（指標）	○図書館ボランティア養成講座 定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○図書館ボランティア（団体・個人）の受け入れ（本、紙芝居等の読み聞かせ、ブックトーク、書棚書架整理、屋上緑化等） ・受入団体：7団体 ・受入個人：6人 延べ117日 ○図書館ボランティア養成講座の開催 【紙芝居の操演】 ・実施日：令和6年9月28日（土）/10月5日（土）（2日間講座） ・内容：「楽しい紙芝居の演じ方」 ・参加者数：15人（申込者数：17人）/定員：20人 ・定員に対する参加者数の割合：75% 【音訳】 ・実施日：令和6年9月26日（木）/10月10日（木）/10月24日（木）（3日間講座） ・内容：「音訳ボランティア入門講座」 ・参加者数：10人（申込者数10人）/定員：12人 ・定員に対する参加者数の割合：83%		
成果・効果	○図書館ボランティアの活動機会や活動場所の支援を行うことができた。 ○本の読み聞かせ同様に人気のある紙芝居の手法を学び、参加者自身のスキルアップを図ることができた。 ○今後のおはなし会のバリエーションを増やすことができた。 ○音訳ボランティア入門講座受講生からボランティア団体への新規入会者が誕生した。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	個人ボランティアの活動は増えているものの、ボランティア団体への新規加入者が減少しているため、ボランティア養成講座の内容を一般の方にもより分かりやすくなるよう講師選定を進め、募集案内を含め支援を継続していく。		

実施事業

学びのきっかけとなる講座の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○初心者講座の実施 4回		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○初心者講座「健康マージャン教室」の実施 4回 （令和7年2月16日・23日、3月2日・3日） ○参加者数16人/定員16人（定員に対する参加者100%） ○参加者の満足度 100%		
成果・効果	アンケート回答者の100%の方が「良かった」と評価した。 講座終了後、参加者によるサークル化が図られ、市民主体での活動継続につながった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、市民の生涯学習のきっかけや受講後のサークル化・活動の発表による交流を創出するため、初心者講座を開催していく。	

実施事業

地域学校協働本部の活用

【担当課】学校教育課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	地域学校協働活動の地域コーディネーターを活用し、学校のニーズを把握するとともに、知識や技能を有する地域人材の発掘及び学校との連携に努めるなど、学校と地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の充実を図る。 また、コミュニティ・スクール導入する学校に活動推進員を配置し、学校と地域が一体となった活動を推進するとともに、コミュニティ・スクール委員会との連携を図る。		
目標（指標）	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 小・中学校全10校（令和5年度の2校から全校配置）		
取組実績	○コーディネーターの配置 3人 ○活動推進員の配置 小・中学校全10校10人		
成果・効果	各学校の地域学校協働本部に配置した活動推進員及び、中学校区ごとに配置した地域コーディネーターを中心に、学校のニーズに沿った地域人材の発掘、コーディネートを行った。また、推進委員それぞれの活動状況を共有し、地域に密着した学校活動の充実につなげることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、学校のニーズに沿った人材発掘等を行う。また、充実した活動につなげられるよう、連絡会を開催して意見交換を行うなど、地域学校協働本部間の連携も強化する。	

実施事業

生涯学習に関する資格等の情報提供

(4-10)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○市公式サイトでの情報発信 ○資格認証制度の相談受付		
目標（指標）	○「はむらの教育」への記事の掲載 2回		
取組実績	○市公式サイト及びはむらの教育令和7年3月1日号」に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度に関する情報を掲載し、市民へ情報発信を行った。(1回) ○資格認証制度の相談を受けられる体制を整えた。		
成果・効果	市民に社会教育士・生涯学習コーディネーター資格認証制度を情報提供し、生涯学習に関する資格について情報提供を行うことができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	市民の生涯学習機会の企画・実践を行う人材を増やしていくため、ゆとりぎ協働事業運営市民の会や生涯学習講座での情報提供など、情報発信方法等を見直し、引き続き、市民へ生涯学習に関する資格等の情報を提供していく。		

実施事業

企画展の開催

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○企画展「こいのぼりと五月人形」 ○企画展「収蔵資料展 ～郷土博物館コレクション～」 ○ミニ展示「青梅鉄道開通130周年事業」 ○企画展「ひな人形展」		
目標（指標）	○郷土博物館入館者数 20,000人		
取組実績	入館者数22,317人を達成した。 企画展「こいのぼりと五月人形」4月13日～5月12日 入館者数1,991人 企画展「収蔵資料展 ～郷土博物館コレクション～」10月5日～12月1日 入館者数6,455人 ミニ展示「青梅鉄道開通130周年記念展～青梅鉄道の開業と羽村～」10月5日～12月1日 入館者数6,455人 企画展「ひな人形展」2月8日～3月9日 入館者数1,541人		
成果・効果	常設展示や企画展示を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会を図ることが出来た。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	今後も魅力ある展示を企画・運営し、リピーターや新たな来館者の獲得を図る。		

実施事業

郷土学習のための講座等の実施	(5-2)
----------------	-------

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和6年度 事業内容	○体験学習会「まゆから糸をひこう！」 ○歴史講座「青梅鉄道開通130周年事業講座」 ○体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	体験学習会「まゆから糸をひこう！」8月11日 参加者35人/定員数40人 満足度100% 歴史講座 青梅鉄道開通130周年記念講演会「青梅鉄道の延伸と地域社会」11月17日 参加者47人/定員数50人 満足度97% 体験学習会「市内小学3年生郷土学習」7校実施		
成果・効果	講座や体験学習を通じて、郷土の歴史や文化等を学ぶ機会を提供することが出来た。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	アンケート結果を今後の講座や体験学習に生かし、魅力ある講座等を実施する。		

実施事業

文化財に関する情報提供

(5-4)

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和6年度 事業内容	○文化財説明板の作成設置 ○『羽村市郷土博物館紀要』の発行 ○「東京文化財ウィーク」事業の参加 ○「多摩郷土誌フェア」の実施 ○郷土博物館公式X(旧ツイッター)での情報発信		
目標（指標）	○文化財説明板の作成設置 1基 ○2事業の実施(東京文化財ウィーク、多摩郷土誌フェア) ○X(旧ツイッター)フォロワー数 1,100人		
取組実績	文化財説明板の修繕 1基 『羽村市郷土博物館紀要』第39号の発行 「東京文化財ウィーク2024」期間中(10月1日～11月30日)企画展及び歴史講座を実施 来館者6,594人、参加者47人 「第37回多摩郷土誌フェア」への出展、紀要等の図書販売(1月18日、19日) 54冊販売 郷土博物館公式X(旧ツイッター)フォロワー数(3月末現在1,180人)		
成果・効果	様々な媒体を利用し、市内文化財に関する情報を発信した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	公式X(旧ツイッター)など、SNSをさらに活用し広く情報発信を行う。		

実施事業

登録郷土研究員の活用

(5-5)

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和6年度の内容 事業内	郷土博物館登録郷土研究員の専門分野で調査・研究された成果について、歴史講座の講師及び企画展への協力、郷土博物館紀要への論考掲載などにより市民に提供する。また、情報収集を行い継続して新たな人材を発掘する。			
目標（指標）	○『羽村市郷土博物館紀要』の発行 年1回			
取組実績	『羽村市郷土博物館紀要』第39号の発行（論考掲載3編） 登録郷土研究員の新規登録者数 1人			
成果・効果	登録郷土研究員の調査・研究の成果を郷土博物館紀要へ掲載し市民等へ情報を発信した。 また、新規登録者1人を登録した。			
評価（達成度）	A	評価凡例		
		A	達成度 80%以上	
		B	達成度 50%以上80%未満	
		C	達成度 30%以上50%未満	
		D	達成度 30%未満	
		—	未実施	
課題・対応	今後も継続して郷土博物館紀要へ論考を掲載し、市民等へ情報発信を行う。			

実施事業

展示説明員の育成と活用

(15-6)

【担当課】郷土博物館

【関連課】

令和6年度 事業内容	社会科見学として来館する都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行う。 また、展示説明員の専門知識や説明能力の向上を図る。		
目標（指標）	○社会科見学校数 100校		
取組実績	社会科見学校数 98校 展示説明員視察研修 2月19日		
成果・効果	都内小学校4年生に対し、玉川上水の歴史と役割について展示説明を行うとともに、玉川上水の学習を支援出来た。また、展示説明員の能力向上を図るため、視察研修を実施した。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		今後も展示説明員の能力向上を図るとともに、希望者を受け入れ人材を確保していく。	

実施事業

芸術文化の鑑賞機会の提供

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○芸術文化の鑑賞事業の実施 14事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○芸術文化の鑑賞事業の実施 15事業 定員に対する参加者 80% 参加者の満足度 84% ・国立音楽大学連携コンサート 参加者数531人/定員854人:62% 満足度:92% ・国立音楽大学2024年度 マネージメント実習 修了演奏会 参加者数198人/定員241人:82% 満足度:71% ・沖縄音楽ライブ in ゆとろぎ 参加者数227人/定員248人:91% 満足度:87% ・HANDSIGNコンサート 参加者数207人/定員247人:83% 満足度:86% ・23rdアートinはむら展 ・たしろちさと絵本原画展 ・「津田のぼる缶ものがたり」展 ・ゆとろぎ美術館(年3期) ・伝統文化交流事業 アイヌ文化公演 参加者数729人/定員793人:91% 満足度:93% ・東京文化会館ワークショップ 参加者数200人/定員252人:79% 満足度:85% ・ゆとろぎ想ひ出の映画鑑 ①参加者数179人/定員252人:71% 満足度:85% ②参加者数117人/定員252人:46% 満足度:80% ・ゆとろぎ寄席 特別公演 参加者数409人/定員854人:47% 満足度:92% ・羽村ゆとろぎ寄席(年3回) ①参加者数111人/定員252人:44% 満足度:82% ②参加者数115人/定員252人:45% 満足度:79% ③参加者数122人/定員252人:48% 満足度:77% ・HAMURAメリーリボン演劇祭 2日間延べ参加者数944人 ・子どもフェスティバル 2日間延べ参加者数3,308人		
成果・効果	ゆとろぎ協働事業運営市民の会や関係団体等と連携し、芸術文化の鑑賞事業を実施することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、芸術文化の鑑賞事業を実施していく。	

実施事業

芸術文化の体験事業の提供

(6-2)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○芸術文化の体験事業の実施 3事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○芸術文化の体験事業の実施 3事業 定員に対する参加者 51% 参加者の満足度 91% ・落語体験ワークショップ 参加者数41人/定員50人:82% 満足度:89% ・伝統文化inゆとりぎ ゆとりぎでお正月を遊ぼう！ ・子ども体験塾 ①YouTuber体験ワークショップ 参加者数107人/定員144人:74% 満足度:95% ②YouTuberによる公演 参加者数379人/定員835人:45% 満足度:90%		
成果・効果	近隣市町等と連携し、芸術文化の体験事業を実施することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		子ども体験塾の参加者を増やすため、参加したくなる「テーマ」を見極め、選定する。	

実施事業

市ゆかりの芸術家の作品展の実施

(6-3)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○作品展の実施 1事業		
目標（指標）	○作品展を通じて芸術文化の振興を図る。		
取組実績	23rdアートinはむら展（令和6年6月25日～7月7日） ・子どものためのワークショップ（2回実施、参加者数：21人） ・アーティストトーク（1回実施、参加者数：50人） ・対話によるわくわく鑑賞ナイト（1回実施、参加者数：14人） ・わくわく鑑賞ツアー（1回実施、参加者数：8人）		
成果・効果	多摩地区アーティスト66名、85点を展示し、価値の高い作品展を開催することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	今後も地域への愛着や誇り、文化的環境の充実に繋がる事業を継続的に実施していく。		

実施事業

ゆとりぎ協働事業運営市民の会との協働事業の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の事業内容	○ホール事業 3事業 ○展示事業 4事業 ○講座事業 10事業 ○サポートグループ(市民の会)との連携(随時)		
目標(指標)	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	定員に対する参加者 67% 参加者の満足度 73% ○ホール事業の実施 3事業 ・ゆとりぎ想ひ出の映画鑑 ①参加者数179人/定員252人:71% 満足度:85% ②参加者数117人/定員252人:46% 満足度:80% ・子どもフェスティバル 2日間延べ参加者数3,308人 ・HANDSIGNコンサート 参加者数207人/定員247人:83% 満足度:86% ○展示事業の実施 4事業 ・23rdアートinはむら展 ・「津田のぼるの缶ものがたり」展 ・たしろちさと絵本原画展 ・ゆとりぎ美術館(年3期) ○講座事業の実施 8事業 ・ゆとりぎ先端テクノロジー講座「生成AI」 参加者数45人/定員50人:90% 満足度:48% ・ゆとりぎ身近なサイエンス講座「家庭の公衆衛生入門」 参加者数21人/定員50人:42% 満足度:85% ・ゆとりぎ経済講座 ①金融編 参加者数29人/定員50人:58% 満足度:51% ②証券編 参加者数49人/定員50人:98% 満足度:70% ・ゆとりぎ文学講座「近・現代編 川端康成”雪国”」 参加者数24人/定員50人:48% 満足度:86% ・ゆとりぎ近・現代史講座「日本の近・現代史と食文化」 参加者数26人/定員50人:52% 満足度:73% ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 参加者数28人/定員50人:56% 満足度:74% ・夏休み子ども講座「風の力、ゴムの力をつかった工作教室Ⅱ」 参加者数19人/定員20人:95% 満足度:79% ・大人の学び直し講座大人の学び直し講座「くらしに役立つ中学数学の面白さ」 参加者数46人/定員50人:92% 満足度:63% ○サポートグループ(市民の会)との連携(レセプション、植栽、保育)		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、ホール事業、展示事業、講座事業を実施することができた。また、年間を通じてサポートグループと連携し、ゆとりぎの事業運営や施設管理に協力をいただいた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、参加者のニーズを見極め、ゆとりぎでの事業の企画運営や施設管理を行っていく。	

実施事業

活動成果の発表機会の提供

(6-5)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○文化祭の実施 ○HAMURAメリーリボン演劇祭の実施		
目標（指標）	○参加人数 文化祭・延べ1万5,000人以上 ○HAMURAメリーリボン演劇祭・延べ1,000人以上		
取組実績	○文化祭(令和6年10月6日～11月3日) 来場者数延べ12,737人 ○HAMURAメリーリボン演劇祭(令和6年7月13日・14日) 来場者数延べ944人		
成果・効果	HAMURAメリーリボン演劇祭、文化祭の実施により、市民のサークル活動や学習活動の成果発表の機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	参加団体が主体的に活動できるよう支援していく。		

実施事業

子どもの運動能力の向上を促す遊びの提供

【担当課】子育て相談課、スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○キラキラポケットの実施 ○こぐまひろばの実施 ○わんわんひろばの実施 ○わくわくスポーツの実施 （児童館における子どもの運動能力の向上を促す遊びの機会の充実）		
目標（指標）	○キラキラポケット 年21回実施（各児童館） ○こぐまひろば 年26回実施（各児童館） ○わんわんひろば 年14回実施（各児童館） ○わくわくスポーツの実施 年6回実施（東児童館） スポーツ推進委員派遣事業 3回		
取組実績	○キラキラポケット 年21回実施（各児童館） ○こぐまひろば 年26回実施（各児童館） ○わんわんひろば 年14回実施（各児童館） ○わくわくスポーツの実施 年6回実施（東児童館） スポーツ推進委員派遣事業 3回 令和6年9月25日：ポッチャ（パラリンピック競技種目）参加者数10人/定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 50% 11月20日：モルック（ニュースポーツ）参加者数15人/定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 75% 令和7年3月12日：ラダーゲッター（ニュースポーツ）参加者数12人/定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 60%		
成果・効果	児童館3館において、年齢発達に適した遊びの場を確保し、乳幼児及び保護者が参加できる事業を実施することにより、心身の健康の増進、知的・社会的能力の向上、情緒豊かな体験をすることで、健全育成を図った。 スポーツ推進委員を東児童館に派遣し、スポーツの体験事業を実施したことにより、子供の運動能力の向上を促す機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	保護者が安心して参加できる内容・環境設定を考慮して事業を実施する。 各児童館の参加者の年齢等を考慮し、実施回数・内容等を検討していく。 定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。ニュースポーツの関心を高めるため道具の貸出や展示などの方策にも取り組んでいく。		

実施事業

スポーツ活動の機会の提供

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度の事業内容	○〔新規事業〕「スポーツの日」イベントの実施 1回 ○総合スポーツ大会の実施 1回 ○駅伝大会の実施 1回 ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 ○四季のウォークの実施 2回 ○走り方教室の実施 1回 ○ウォーキング講座(歩き方教室)の実施 1回 ○スロージョグ講座の実施 1回 ○はむらスポーツフェスティバルの実施 1回 ○トレーニングルームプログラムの充実		
目標(指標)	○定員に対する参加者 80%以上 ○トレーニングルームプログラムの充実 317日		
取組実績	○スポーツの日イベント「市民スポーツまつり」の実施 1回 令和6年10月14日 参加者数延5,500人 ○総合スポーツ大会の実施 1回 総合開会式 令和6年4月6日 令和6年6月～令和7年3月 19種目 参加者数2,506人(全競技合計) ○駅伝大会の実施 1回 令和7年3月9日 参加者数512人(94チーム) ○フィールドゴルフ大会の実施 2回 令和6年5月25日 参加者数51人 10月19日 参加者数55人 ○四季のウォークの実施 2回 令和6年9月21日 参加者数16人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 40% 令和7年3月23日 参加者数41人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 102.5% ○走り方教室(市民スポーツまつり内)の実施 1回 令和6年10月14日 参加者数89人/定員100人 ⇒定員に対する参加者の割合 89% ○ウォーキング講座の実施 1回(2日間) 令和7年2月15日・22日 参加者数延べ52人/定員60人 ⇒定員に対する参加者の割合 86.6% ○スロージョグ講座の実施 1回 令和6年6月16日 参加者数26人/定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 130% ○はむらスポーツフェスティバルの実施 1回 令和6年12月7日 参加者数延750人 ○トレーニングルームプログラムの充実 317日 プログラム2種目追加/計10プログラム		
成果・効果	市民がスポーツ活動に気軽に参加できるよう各種イベントを開催したことにより、スポーツ活動の機会を提供することができた。 特に、新規事業「市民スポーツまつり」については、福祉・医療等の関係機関で組織した協議体からの意見を踏まえ、年齢や障害の有無にかかわらず、市民の誰もが参加できるスポーツ事業を実施したことにより、想定以上の方々に来場していただくことができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		より多くの市民がスポーツに触れ合える機会を創出できるように事業内容の改善を図りながら、定員を満たしていないイベントについては、周知方法を検討し達成するよう努め、継続して実施していく。 「市民スポーツまつり」については、「はむらスポーツフェスティバル」と統合し、複数のスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実していく。	

実施事業

指導者の養成と資質の向上支援

(7-3)

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回 ○熱中症対策講習会の実施 1回		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○スポーツリーダー養成講習会の実施 1回（3日間） 令和6年12月7日・令和7年1月11日・26日 認定者36人/認定者総数109人 ○熱中症対策講習会の実施 1回 令和6年5月11日 参加者数34人/定員30人		
成果・効果	スポーツ指導に関する専門意識を習得するための講習会を開催したことにより、スポーツ団体の指導者の「養成」と「資質向上」を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	周知方法を検討し定員を達成するよう努め、継続して実施していく。		

実施事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした新たなスポーツの振興

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度 の 事業 内容	〇はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回		
目 標 (指 標)	〇定員に対する参加者 80%以上		
取 組 実 績	〇はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回 「トランポリン」 令和6年12月7日 参加者数31人／定員35人 ⇒定員に対する参加者の割合 88.5% 総参加者数延750人		
成 果 ・ 効 果	オリンピック競技大会には、様々な種目があることを理解していただくとともに、生涯を通じて実践したいと思えるスポーツを選択するきっかけづくりを提供することができた。		
評 価 (達 成 度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課 題 ・ 対 応		—	未実施
		事業内容の改善を図りながら、周知方法を検討し定員を達成するよう努め、継続して実施していく。 「はむらスポーツフェスティバル」については、「市民スポーツまつり」と統合し、複数のスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実していく。	

実施事業

障害者スポーツの普及啓発

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】障害福祉課

令和6年度の事業内容	○はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回 ○ボッチャはむら大会の実施 1回 ○障害者スポーツ指導者の養成		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回		
取組実績	○はむらスポーツフェスティバル(オリンピック・パラリンピック競技種目体験教室)の実施 1回 「ボッチャ」 令和6年12月7日 参加者数43人/定員40人 ⇒定員に対する参加者の割合 107.5% 総参加者数延約750人 ○ボッチャ体験教室の実施 2回 令和6年9月14日 参加者数42人 令和6年11月9日 参加者数36人 ○ボッチャはむら大会の実施 1回 令和6年11月30日 参加者数59人(16チーム)/定員12チーム ⇒定員に対する参加者の割合 133.3% ○スポーツ推進委員協議会の研修会の実施 1回「聴覚障害者への支援」 令和7年2月8日 参加者数12人		
成果・効果	東京2020大会を契機とした障害者スポーツの普及啓発を図るとともに、障害者スポーツの指導者等の育成・充実を図ることができた。 ボッチャについては、体験教室の参加者がチームを編成し大会に参加するなど、普及啓発に繋げることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
	—	未実施	
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。 「はむらスポーツフェスティバル」については、「市民スポーツまつり」と統合し、複数のスポーツ施設を活用した市民参加型のスポーツ事業を実施し、市民が市内でスポーツを実践する機会を充実していく。		

実施事業

図書館業務体験事業の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○夏休み司書体験の実施 小学校高学年対象 ○YAボランティア体験の実施 中学生・高校生対象		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○夏休み司書体験 ・実施日：令和6年7月31日（水） ・内容：カウンター業務・書架整理・選書作業等 ・対象者：小学校5・6年生 ・参加者数：9人（5年生1人・6年生8人）/定員：8人 ・定員に対する参加者数の割合：113% ○YAボランティア体験 ・実施日：令和6年8月7日（水）/8月8日（木） ・内容：YAコーナーでの展示とプレゼンテーション等 ・対象者：中学生・高校生 ・参加者数：7人（中学生5人・高校生2人）/定員：8人 ・定員に対する参加者数の割合：88%		
成果・効果	○夏休み司書体験 ・館内見学、カウンター業務、バックヤード作業、選書などの体験を効率よく配置することで、参加者の集中力が増し、より体験感を得られるようにすることができた。 ○YAボランティア体験 ・アンケートでは次回も参加したいという回答が6人おり、YA世代の単なる読書への興味に加え、図書館への興味を喚起することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	○定員超で実施したが、事故なく満足感のある事業が実施できたため、来年度以降は定員増の方向で企画する。 ○YAボランティア体験では、羽村高校にも案内を送り、高校生の参加を期待したが、参加が得られなかったため、働きかけを継続していく。		

実施事業

読書への意欲を高めるための講座等の実施

【担当課】図書館

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○絵本関連講座の実施 1回(2～3回シリーズ) ○児童文学講演会の実施 1回		
目標(指標)	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○絵本関連講座 ・実施日:令和6年8月3日(土) ・内容:「パネルシアターをつくろう」 ・参加者数:23人/定員15人(家族参加を受け入れたため) ・定員に対する参加者数の割合:153% ・参加者の満足度:100% ※パネルシアター…背景に絵を描いた布を貼ったり剥がしたりしながら、物語や歌などを演じる手法 ○児童文学講演会 ・実施日:令和7年1月26日(日) ・内容:「たしろちさと 絵本ができるまで」 ・参加者数:51人(その他関係者9人)/定員50人 ・定員に対する参加者数の割合:102% ・参加者の満足度:76%		
成果・効果	○絵本関連講座は、自宅でも簡単にパネルシアターができることを実感された参加者が多く、パネルシアターの手法を体験し、子供たちへの読み聞かせのバリエーションを増やしてあげることができた。 ○絵本原画展と共催することによって、実際に展示されている原画を鑑賞した後でその作家の講演を聞くことで、作品や作家への理解をより一層深めることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	○絵本関連講座については、紙の絵本が持つ魅力を発信し、絵本への興味を通じて継続的な読書活動につなげる役割を果たしていく。 ○児童文学講演会については、令和7年度は諸般の事情により絵本原画展との共催ができなくなりましたが、令和8年度以降は、引続き絵本原画展との共催により、原画の魅力と作家の思いを直に伝え、読書への意欲を深めていく企画を検討する。		

実施事業

読書手帳の活用

(6-3)

【担当課】図書館

【関連課】

令和6年度 事業内容	○読書手帳・よむちよの活用 ・読書手帳の配布 小・中学校の新1年生に配布 ・読書手帳表彰		
目標（指標）	○読書手帳表彰者数 10人		
取組実績	○読書手帳配布冊数 小学校 606冊（うち新1年生分356冊） 中学校 483冊（うち新1年生分423冊） 羽村高等学校 20冊 一般 63冊 ○読書手帳表彰者 10人		
成果・効果	○読書手帳への記録がモチベーションとなり、読書活動の習慣化を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		○表彰式で進呈している受賞記念特別利用者カードが図書館利用のモチベーションの一端となっているため、継続して進呈する。 ○読書手帳の活用は、表彰目的以外にも個人の読書意欲を後押ししているため、引続き事業を継続する。	

実施事業

図書館資料活用の推進

(10-4)

【担当課】図書館

【関連課】

令和6年度の事業内容	○図書紹介ポップ展示の実施 ○調べ学習のための図書の貸出などの支援 ○市図書館ウェブサイト及びメールマガジンによる読書情報の充実 ○読書啓発パンフレット(ブックリスト)等の発行		
目標(指標)	○メールマガジンの発信回数 50回		
取組実績	○図書紹介ポップ展示の実施 1回 ・「YAボランティア体験」事業の一環として実施 ○団体貸出件数(調べ学習、学校おはなし会等含む) 102団体 4,094冊 ・団体:小・中学校、幼稚園・保育園・学童・放課後子ども教室(はむらっ子広場)等 ○メールマガジンの発信回数(毎週金曜日) 51回(登録者数134人) ○「月刊NewBook」の発行 12回 ○「みどりのまど」(児童向け図書紹介パンフレット) 2回 ○「ヤングスクラッチ」(YA向け図書紹介パンフレット) 2回		
成果・効果	○図書紹介ポップは、来館者への事業周知とともに、具体的な図書紹介の一助となった。 ○調べ学習のための貸出については、季節的、専門的な図書を貸出すことによって、授業に役立てることができた。 ○団体貸出については、従前の団体に加え、放課後等デイサービス事業所、放課後子ども教室(「はむらっ子広場」)の新規登録があり、図書館資料の活用を図ることができた。 ○メールマガジンについては、旬な情報やイベント情報をいち早く発信することで、図書館利用者の利便を図ることができた。 ○「月刊NewBook」「みどりのまど」「ヤングスクラッチ」は、重要な紙媒体での情報発信ツールとして、図書館資料の情報を届けることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	図書館からの情報発信については、紙媒体とデジタル情報のハイブリットにより、いつでも必要な方へ必要な情報が届けられる方法を検討し、図書館資料の活用を推進していく。		

実施事業

「家読(うちどく)」事業等の実施

(6-5)

【担当課】図書館

【関連課】子育て相談課

令和6年度の 事業内容	○「家読(うちどく)」の推進 ○ブックスタート事業の実施(絵本の配布・啓発、セカンドブックスタート(啓発))		
目標(指標)	○家読(うちどく)セットの貸出 70セット ○BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発 12回		
取組実績	○「家読(うちどく)」の推進 ・家読(うちどく)セットの貸出 59セット ・図書館アンケートにおいて、「家読(うちどく)」に関する項目を設定 ○ブックスタート事業 ・乳児への絵本の配布 292冊(子育て相談課事業) ・BCG接種時の絵本の読み聞かせの指導・啓発 12回 234組 ・セカンドブックスタート啓発パンフレットの配布 411部		
成果・効果	○家庭における良好な読書環境について、保護者に対して啓発することができた。 ○BCG接種時に「利用者登録票」を配布することで、図書館利用へつなげることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		○「家読(うちどく)」については、本来の趣旨である「家庭での読書時間の共有・会話の充実」 に關しての評価のためのアンケート同封する。 ○一連のブックスタート事業については、読書の習慣化に有効であるため、今後も継続して実 施していく。	

実施事業

学校と連携した読書活動への支援

(8-6)

【担当課】図書館

【関連課】学校教育課

令和6年度の 事業内容	○学校おはなし会やブックトーク等の実施 ○学校図書館システムを活用した情報連携 ○学校での市図書館所蔵資料貸出・返却の試行	
目標（指標）	○おはなし会などでの学校への出張回数 55回 ○貸出・返却試行の学校図書館実施校 2校	
取組実績	○学校おはなし会・ブックトークの実施 61回(64クラス) ○返却用ブックポストの設置による市図書館収蔵資料返却の継続試行 ・試行実施校:羽村東小学校…毎週金曜日回収 回収冊数 29冊 羽村第三中学校…毎週水曜日回収 回収冊数 36冊	
成果・効果	○学校おはなし会・ブックトークについては、図書館ボランティアの協力により、小学校全校で実施することができ、子供たちも意欲的に参加することができた。 ○返却用ブックポストの試行設置については、児童・生徒の利便が図られたものの、利用実績が低調であった。	
評価（達成度）	A	評価凡例
		A 達成度 80%以上
		B 達成度 50%以上80%未満
		C 達成度 30%以上50%未満
		D 達成度 30%未満
	—	未実施
課題・対応	○学校おはなし会・ブックトークは、学校のニーズに応えながら、今後も継続して実施していく。 ○返却用ブックポストは、児童・生徒のリクエストによる学校への貸出図書の配送と絡めて検討する必要がある。あわせて、学校内での貸出図書の受渡し方法についても、慎重に検討する必要がある。	

実施事業

国際理解や多文化共生に関する講座等の実施

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○国際理解講座 1事業 ○交流事業 1事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	○杏林大学公開講演会「ドイツの物語から読みとく日本とドイツの親和性」の実施 ・開催日 令和7年2月2日 ・参加者数 50人/定員60人 83% ・参加者の満足度 62% ○交流事業・子ども国際交流音楽祭の開催（ウイーン音楽家による指導と共演） 羽村第三中学校 吹奏楽部18人への指導 （令和7年2月7日 同中学校） 羽村市・奥多摩町・檜原村・昭島市及び他市の児童による合唱団との共演 （令和7年2月11日 ゆとろぎ大ホール） ・参加者の満足度 94%		
成果・効果	今回から昭島市が加わり、参加者および音楽祭入場者が増加し、両事業の実施により市民の国際理解を高める機会を提供することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		自治体間で、合唱団の参加人数に偏りがあるため、各自治体で合唱団への参加の呼びかけをさらに促進する必要がある。	

実施事業

高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の事業内容	○中高年を含めた全年齢向け講座の実施 15事業		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上 ○参加者の満足度 80%以上		
取組実績	定員に対する参加者 66% 参加者の満足度 74% ○中高年を含めた全年齢向け講座の実施 13事業 ・ゆとりぎ文学講座「近・現代編 川端康成『雪国』」 参加者数24人/定員50人:48% 満足度:86% ・ゆとりぎ近・現代史講座「日本の近・現代史と食文化」 参加者数26人/定員50人:52% 満足度:73% ・ゆとりぎ先端テクノロジー講座「生成AI」 参加者数45人/定員50人:90% 満足度:48% ・生涯学習講座「ゆとりぎで展示・公演・講座を企画・運営してみませんか！」 参加者数17人/定員20人:85% 満足度:68% ・ゆとりぎ経済講座 ①金融編 参加者数29人/定員50人:58% 満足度:51% ②証券編 参加者数49人/定員50人:98% 満足度:70% ・ゆとりぎ身近なサイエンス講座「家庭における正しい食品衛生管理…食中毒のしくみと食品表示の見方」 参加者数21人/定員50人:42% 満足度:85% ・大人の学び直し講座「くらしに役立つ中学数学の面白さ」 参加者数46人/定員50人:92% 満足度:63% ・中央大学学術講演会「日本マンガ・アニメの強さの秘密」 参加者数39人/定員60人:65% 満足度:82% ・テレ朝出前講座「報道のプロが語る災害報道の舞台裏と地域の防災」 参加者数39人/定員60人:65% 満足度:97% ・ゆとりぎ学習文化講座「初めてのトールペイント」 参加者数9人/定員10人:90% 満足度:100% ・杏林大学学生連携企画講座「温泉で心と身体を健康に！」 参加者数25人/定員60人:41% 満足度:86% ・杏林大学公開講演会「ドイツの物語から読みとく 日本とドイツの親和性」 参加者数50人/定員60人:83% 満足度:62% ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 参加者数28人/定員50人:56% 満足度:74%		
成果・効果	ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施することができた。		
評価（達成度）	B	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、ゆとりぎ協働事業運営市民の会と協働し、中高年向け講座を実施を行っていく。	

実施事業

健康に関する講座等の実施

(9-5)

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】健康課

令和6年度の 事業内容	○健康運動教室の実施 1回		
目標（指標）	○定員に対する参加者 80%以上		
取組実績	○健康運動教室の実施 1回「楽しく運動！健幸筋トレ教室」 令和6年11月1日～12月20日（全8回）参加者18人（延べ129人）／定員20人 ⇒定員に対する参加者の割合 90%		
成果・効果	参加者の多くが中高年であり、運動の楽しさを知って、体力テストで効果を確認するなど、健康づくりの運動を継続できるよう学習機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	事業内容の改善を図りながら、継続して実施していく。 多くの人に参加いただけるよう、中学生以上どなたでも参加しやすい土曜日の連続講座を検討していく。		

実施事業

青年学級事業の実施

9-11

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○青年学級の実施 12回 ※現会員10人		
目標（指標）	○登録会員の50%以上の参加（各回）		
取組実績	○青年学級の実施 12回 ○登録会員数10人 ○参加率 90% ○主な活動内容 農業体験（植え付け・収穫）、スポーツ・レクリエーション（ボウリング、フォークダンス、リトミック等）、創作（書道）、遠足		
成果・効果	ボランティアや地域の方の協力を得て、障害のある方の学びの提供として青年学級を開催し、様々な体験機会を提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、ボランティアや地域の方の協力を得ながら、青年学級を実施していく。		

実施事業

文化団体の活動支援

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○羽村市文化協会の活動支援 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 317日 ○各種団体等への活動場所の提供 社会教育関係団体等の施設利用件数 1,200件		
取組実績	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 317日 ○羽村市文化協会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○ゆとりぎ協働事業運営市民の会の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 ○社会教育関係団体、その他の文化団体の活動支援 施設使用料の減免、補助金の交付 社会教育関係団体等の施設利用件数 888件		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。 また、社会教育関係団体や羽村市文化協会加盟団体について、団体・サークルガイドによりPRを行った。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。	

実施事業

スポーツ団体の活動支援	(10-2)
-------------	--------

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○羽村市スポーツ協会の活動支援 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぼの活動支援 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援		
目標（指標）	○スポーツセンター開館日数 317日 ○各種団体等への活動場所の提供 社会教育関係団体等のスポーツセンター利用申請件数 1,300件		
取組実績	○羽村市スポーツ協会の活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○はむら総合型スポーツクラブはむすぼの活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 ○社会教育関係団体、その他のスポーツ団体の活動支援 施設使用の優先予約、施設使用料の減免 社会教育関係団体等のスポーツセンター利用申請件数 4,135件 ※申請件数のカウント方法を変更したため件数が多かった。 ○スポーツセンター開館日数 317日		
成果・効果	施設使用の優先予約や施設使用料の減免を行い、安価で安心して活動できる場所やイベントでPRする機会を提供することにより、団体活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		事業内容の改善を図りながら、会員数の減少や高齢化などの課題に対応できるよう、継続して実施していく。	

実施事業

団体への補助金の交付	(10-3)
------------	--------

【担当課】生涯学習推進課、スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○文化・スポーツ団体や市民活動団体等へ補助金を交付する。		
目標（指標）	○社会教育関係団体への補助金の交付 ○羽村市文化協会への補助金の交付 ○羽村市スポーツ協会への補助金の交付		
取組実績	○社会教育関係団体への補助金の交付 ・文化・学習団体 2団体 交付額35,000円(2団体合計) ・スポーツ・レクリエーション団体 5団体 交付額100,000円(5団体合計) ○羽村市文化協会(加盟団体数97)への補助金の交付 交付額571,000円 ○羽村市スポーツ協会(加盟団体数19)への補助金の交付 交付額750,000円		
成果・効果	補助金を交付することにより、財政面から団体の活動を支援することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		継続して支援していく。	

実施事業

団体等の活動情報の収集・提供	(10-5)
----------------	--------

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】スポーツ推進課

令和6年度の 事業内容	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布		
目標(指標)	○市内公共機関等150部配布		
取組実績	○市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行(年1回)・配布 市内公共施設(市役所1階受付、プリモホールゆとろぎ、S&Dスポーツアリーナ羽村、コミュニティセンター等)で、全250部配布		
成果・効果	社会教育関係団体や市民活動団体の活動情報を市民に提供することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	紙媒体の配布から市公式サイトへの閲覧を促進する広報周知について検討していく。 中学生など若者が参加できる団体の情報発信についても検討していく。		

実施事業

団体等の情報発信支援

(10-8)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○学習文化情報コーナーの運用		
目標（指標）	○生涯学習センターゆとりぎ開館日数 317日 ○情報発信場所の提供 100件		
取組実績	○開館日数(学習文化情報コーナーの運用日数) 317日 ○学習文化情報コーナーの運用 社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示 情報発信場所の提供 103件		
成果・効果	ゆとりぎ館内の学習文化情報コーナーに、社会教育関係団体等の市内団体の生涯学習に関する情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、社会教育関係団体等の情報を掲示し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。		

実施事業

生涯学習関連情報の発信

(10-8)

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○「はむらの教育」の発行		
目標（指標）	○6回発行		
取組実績	○年6回、奇数月1日に発行し、市内全戸に配布した。 発行部数 計159,450部 ○掲載内容の充実を図ることを目的として、市民感想・意見を募集している。		
成果・効果	○羽村市の学校教育及び生涯学習に関する情報を市民に向けて、定期的に発信することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	目標に対する達成度 80%以上
		B	目標に対する達成度 50%以上80%未満
		C	目標に対する達成度 30%以上50%未満
		D	目標に対する達成度 30%未満
	—	未実施	
課題・対応	学校教育や生涯学習等に関する情報を広く市民に向けて発信し、学校教育への理解を深めるとともに、生涯学習等の文化芸術活動の普及啓発等を図るため、写真、作品や資料等を効果的に掲載し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めていく。 また、教育広報誌「はむらの教育」の市民ニーズ(需要)を確認する方法等について、研究していく		

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○ゆとりぎイベントガイド発行 ○はむらまなび便り発行 ○ゆとりぎホームページの更新(随時)		
目標(指標)	○ゆとりぎイベントガイド 6回発行 ○はむらまなび便り 4回発行		
取組実績	○ゆとりぎイベントガイド発行 6回 ○はむらまなび便り発行 4回 ○ゆとりぎホームページの更新、「ゆとりぎイベント情報」ページの開設 はむらまなび便りは、発行方法を、チラシ型、町内会・自治会回覧から、ポスター型、町内会・自治会掲示板掲示に変更した。 また、市公式サイトに、ゆとりぎの主催事業をまとめて掲載する「ゆとりぎイベント情報」のページを開設し、年間を通じて生涯学習機会があることを市民に情報提供した。		
成果・効果	ゆとりぎイベントガイド、はむらまなび便りを発行し、市民に生涯学習の情報を提供することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、ゆとりぎイベントガイドを発行するとともに、市公式サイト「ゆとりぎイベント情報」を適宜更新し、市民に生涯学習の情報を提供していく。 まなび便りについては発行方法を変更したが、効果の向上が見受けられず、発行について見直しを行う。	

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○はむら市スポーツ推進委員だよりの発行		
目標(指標)	○2回発行		
取組実績	○3回発行(A4カラー両面) 第77号発行(令和6年6月30日)1,300部 第78号発行(令和6年11月30日)1,300部 第79号発行(令和7年3月1日)1,300部 町内会自治会回覧用を配布、市公式サイトに掲載 西武信用金庫(2か所)及び日本郵便株式会社(5か所)との包括連携協定により配架		
成果・効果	市民に、スポーツ推進委員の活動等についての情報を発信することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		多くの市民にご覧いただけるよう配布先や閲覧方法を検討し、年2回発行を継続していく。	

実施事業

生涯学習まちづくり出前講座の活用促進

(10-9)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 ○「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回		
目標（指標）	○出前講座の利用回数 12回		
取組実績	○出前講座メニューを掲載した案内の発行 1回 ○「はむらの教育」への紹介記事掲載 1回 ○町内会・自治会等への「出前講座メニュー」の配布 1回 ○出前講座の利用回数 21回 ○主な出前講座メニュー 「もしものときのため、知っておきたい介護のはなし」「あなたも「健康はむらさん」になろう」「いきいき子育て応援します！」		
成果・効果	出前講座について、利用の促進を図り、目標を上回る利用につなげることができた。 市民の団体が主催する学習会などに、市職員や官公署等の職員が講師として出向き、行財政運営や子育て、健康に関することなどの講座を行うことができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		引き続き、関連部署や官公署と連携し、出前講座を実施していく。また、効果的な事業の広報周知について検討していく。	

実施事業

企業、大学、財団等との連携による講座、芸術鑑賞事業等の実施

【10-10】

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度 事業内容	○杏林大学、国立音楽大学、財団、企業との連携事業の実施		
目標（指標）	○10事業程度実施		
取組実績	○杏林大学、国立音楽大学、公益財団法人青梅佐藤財団、日野自動車株式会社等企業との連携事業の実施 12事業 ・杏林大学 学生連携企画講座「温泉で心と身体を健康に！」これであなたも温泉博士！ 実施日：12月14日 参加者数：21人 ・杏林大学 公開講演会「ドイツの物語から読みとく日本とドイツの親和性」 実施日：令和7年2月2日 参加者数：50人 ・国立音楽大学 連携協定記念バロック音楽コンサート 実施日：令和7年1月25日 参加者数：531人 ・国立音楽大学 2024年度マネージメント実習 修了演奏会 実施日：令和7年2月15日 参加者数：198人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学オーケストラ演奏会 実施日：5月11日 参加者数：632人 ・青梅佐藤財団 神津善行講演会「旅立つ妻に贈る音楽会」 実施日：6月8日 参加者数：664人 ・青梅佐藤財団 国立音楽大学プラスオルケスター演奏会 実施日：10月5日 参加者数：644人 ・青梅佐藤財団 市民コンサート 実施日：10月12日 参加者数：647人 ・青梅佐藤財団 梯剛之ピアノリサイタル 実施日：12月15日 参加者数：451人 ・青梅佐藤財団 ニューイヤーコンサート 実施日：令和7年1月11日 参加者数：648人 ・武蔵野美術大学 共同企画展覧会 羽村ゆとろぎアーツプロジェクト2024 実施日：12月19日～26日 参加者数：604人（関連イベント含む） ・日野自動車連携講座「ペットボトルロケット」 実施日：8月23日 参加者数：18人 ・わが街 羽村を知るシリーズ羽村市企業出前講座篇 実施日：11月24日 参加者数：28人		
成果・効果	包括連携協定を締結している杏林大学、国立音楽大学、またゆとろぎでの事業に協力いただいている公益財団法人青梅佐藤財団や武蔵野美術大学、日野自動車等と連携して、音楽鑑賞、講演、子供向け体験事業を実施することができた。 武蔵野美術大学と共同で行っている企画展覧会では、参加した学生の個展をゆとろぎで開催し、若手作家の作品鑑賞機会の創出にもつながった。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、杏林大学、国立音楽大学、財団、大学、企業との連携した事業を実施していく。		

実施事業

生涯学習コーディネート機能の運用

(10-12)

【担当課】生涯学習推進課

【関連課】

令和6年度の 事業内容	○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) ○生涯学習に関する情報収集・提供		
目標(指標)	○相談者への情報提供及び講師等との調整対応 ○生涯学習情報の更新(随時)		
取組実績	○生涯学習コーディネーターの配置 ○生涯学習に関する相談の対応(コーディネート) 主な相談内容…市民の会の企画事業など、市民が企画する学習講座の講師提案や調整など ○生涯学習に関する情報収集・提供 団体・サークルガイドの発行、市公式サイトへの掲載		
成果・効果	コーディネーターが、市民の助言や各種調整などを行い、市民の生涯学習活動の支援を行うことができた。 団体・サークルガイドを発行し、市民に生涯学習に関する情報を提供することができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	引き続き、団体・サークルガイドを作成し、市民に生涯学習のきっかけを提供する。		

実施事業

学校施設の計画的な改修工事の実施

【10-14】

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】建築課

令和6年度の 事業内容	○羽村市学校施設長寿命化計画の推進 ・小学校防音機能復旧(機器取替)工事(富士見小(2期)) ・小学校トイレ改修工事 (羽村東小(西側)、羽村西小(C棟))		
目標(指標)	学校施設の適正な維持管理のため、改修等工事を実施		
取組実績	・小学校防音機能復旧(機器取替)工事(富士見小(2期)) 富士見小学校増築棟の空調改修(機器取替)工事を実施した。 ・小学校トイレ改修工事(羽村東小(2期)) 羽村東小学校の西系統のトイレ改修工事を実施した。 ・小学校トイレ改修工事(羽村西小(2期)) 羽村西小学校のC棟系統のトイレ改修工事を実施した。 上記工事の実施にあたり、関係部署、工事契約業者等との連携を強化し、工事の進捗管理を徹底した。		
成果・効果	学校施設の改修工事を実施することで、児童の教育環境の改善と災害時避難所としての機能強化を図ることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		今後も、関係部署、工事契約業者等と密な連携を取り、工事の進捗管理を徹底する。 また、学校施設は全体的に老朽化が進行していることから、今後も国庫補助金や東京都補助金といった特定財源を活用した計画的な改修により学校施設の環境改善を図り、適正な維持管理に努めていく。	

実施事業

〔新規事業〕羽村市立小学校体育館冷暖房空調設備の設置

【10-15】

【担当課】生涯学習総務課

【関連課】学校教育課、建築課、防災安全課

令和6年度の 事業内容	○羽村市立小学校体育館への冷暖房空調設備の設置 ※5年リース契約		
目標（指標）	○小学校 7校 ○8月から12月にかけて設置		
取組実績	小学校全7校に冷暖房空調設備を設置した。 5月から12月設置工事完了、1月から機器賃貸借開始		
成果・効果	体育館に冷暖房空調設備を設置したことで、児童の教育環境の改善と災害時避難所としての機能強化を図ることができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		設置した機器の適正な運用及び維持管理を実施していく。また、社会教育関係団体の体育館利用時に空調設備を使用することができるよう、使用方法や使用料等について検討する。	

実施事業

スポーツセンターの管理運営方法の検討

10-10

【担当課】スポーツ推進課

【関連課】企画政策課

令和6年度 事業内容	○スポーツセンターの管理運営について、民間事業者等が有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的として、指定管理者制度等の施設の管理運営における官民連携手法の導入を検討する。		
目標（指標）	○スポーツセンターへの指定管理者制度等導入の検討		
取組実績	○近隣自治体における管理運営方法の調査・研究 ○スポーツ推進審議会から意見等の聴取 審議会1回 ○スポーツ協会との意見交換 3回 ○はむすぼとの意見交換 3回		
成果・効果	スポーツ推進審議会において、施設改修等を行った上で指定管理者制度を導入すべきとの意見があったほか、都内のスポーツ施設109のうち、101施設が指定管理者制度を導入済であることを確認した。 スポーツ施設の指定管理を行っている企業等に対し、委託経費等の提案調査を実施したほか、指定管理者制度を導入した際に影響のある団体（スポーツ協会やはむすぼ等）との意見交換を行い、方向性について認識することができた。		
評価（達成度）	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
		—	未実施
課題・対応	令和8年度から9年度にかけて施設改修等を計画していることから、工事完了後、速やかに指定管理者制度を導入できるよう、移行準備を進めていく。		

実施事業

〔新規事業〕校務用パソコンの更新及びインターネット閲覧環境整備

【担当課】学校教育課

【関連課】企画政策課、施設所管課

令和6年度の 事業内容	小・中学校の教員が校務事務(出席・成績処理、教材作成等)で使用する校務用パソコンについて、インターネット閲覧環境を整備し、校務のデジタル化を推進する。		
目標(指標)	○校務用パソコン機器更新:330台配備 ○インターネット閲覧環境の整備		
取組実績	○校務用パソコン機器更新:330台配備 ○インターネット閲覧環境の整備		
成果・効果	小・中学校の教員が使用する校務用パソコンの更新を行うとともに、インターネット閲覧環境を整備し、デジタル化に資する環境を整備したことにより、教員等の校務の利便性が向上し、効率化を図ることができた。		
評価(達成度)	A	評価凡例	
		A	達成度 80%以上
		B	達成度 50%以上80%未満
		C	達成度 30%以上50%未満
		D	達成度 30%未満
課題・対応		—	未実施
		適切な運用を行うとともに、引き続き、環境を生かした校務DXを推進していく。	

4 点検・評価に関する学識経験者からの意見

相 原 雄 三 （明星大学教育学部教育学科 特任教授）

今回の羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の対象となる事業は、令和6年度において実施された60の主な事務事業です。令和6年度の事務事業は、令和5年度の58事業より2事業増えており、社会や市民のニーズに応えるための事務事業の取組が広がっていることが分かります。自己評価Aが51事業、自己評価Bが8事業、自己評価Dが1事業となっており、全体的に見て事務事業が計画通りに展開されたことと考えられます。

ここでは、羽村市教育委員会の教育目標の実現を図るために定められた4つの基本方針に則って実施されたいくつかの事業について意見を述べます。

1 子供たちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実（家庭教育セミナーの実施）

羽村市立小・中学校PTA連合会研修部と連携して、「親子で学ぼう！家庭での防災・安全対策」をテーマにして、家庭教育セミナーを開催したことは大変意義あることです。

取組実績については、参加率は55%で、令和5年度と比較すると14ポイント増加しました。一方で、参加者の満足度は63%で、令和5年度と比較すると35ポイント減少しています。この結果から、今回の「家庭での防災・安全対策」というテーマについては、既知の内容が多く、新しい知見を得られるようなものではなかったのではないかと推測されます。

今後は、参加率及び参加者の満足度の向上を図るために、テーマや内容については、対象となる参加者のニーズや家庭教育に対する社会の要請などをできるだけリサーチして決定していくことを期待します。

No. 2 家庭教育関連情報の提供と啓発（就学時検診での「家庭教育はじめの一步」の配布、市公式サイトでの周知）

令和5年度に、家庭教育のポイントをまとめた冊子を各小学校で行われる「就学時検診」のときに配布するだけでなく、市公式サイトに二次元コードを掲載して、スマートフォンから家庭教育に関する情報にアクセスして、「いつでも、どこでも活用できる」ように改善しました。

この二次元コードを使っただけのアクセス数については、123件あったとのこと。引き続き、アクセス数を把握して、「活用の頻度」という視点からも本事業の成果を検証していただきたいです。

No. 3 幼・保・小の連携による円滑な接続の支援（幼稚園・保育園・小学校の連携推進事業）

子供に関わる大人が立場を越えて連携し、義務教育開始前の5歳児から小学校1年生の2年間にふさわしい学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指す取組を行っていることは素晴らしいです。

また、従前から「小1プロブレム」といった小学校入学時期の子供の学校生活への円滑

な接続に関わる課題が言われてきましたが、この取組の中で、「架け橋期カリキュラム」を基盤にして、子供の学びや生活をどのようにつないでいくか協議していることは価値あることです。

今後は、保育現場や教育現場からの意見を反映させながら、「架け橋期カリキュラム」の改訂を行っていくとのことですが、幼児教育の有識者も交えた改訂委員会を組織して、現場での子供の実態とともに理論的な側面も大切にしながら、その改訂作業を行っていただくことを期待します。

No. 4 小中一貫教育の推進（小中一貫教育カリキュラム等の実践）

2020 年（令和 2 年度）～2024 年（令和 6 年度）年度までを計画期間とした『第 3 次羽村市小中一貫教育基本計画』を踏まえ、令和 5 年度に義務教育 9 年間を通した各教科等のカリキュラムの在り方をまとめました。さらに、令和 6 年度には、それらを活用して効果検証を図り、授業実践に向けて研究を行った取組の評価（達成度）が A 評価であることから、各学校において着実に授業実践が行われているのではないかと推察します。

今後は、各学校における教員の意識を日常的に高めていくために、リニューアルしたホームページに「小中一貫教育の推進」という項目をつくり、「小中一貫教育カリキュラム」を活用した授業実践を紹介するなど、具体的な取組の工夫を期待します。

No. 7 ICT 機器を活用した教育の推進（ICT 機器の活用による多様な子供たちの個別最適化した学習の取組）

令和 4 年度に、GIGA スクールサポーターや ICT 支援員の配置と一人一台端末の配備などが行われ、学校における ICT 機器を活用した教育を推進するための体制は整いました。さらに、令和 6 年度は、一人一人の子供の理解度や学習進度に応じた学びを進められるように、「学習支援ドリルの運用」が開始されました。

現在、次期学習指導要領の改訂に向けて、国の中央教育審議会では有識者による審議が行われており、その審議内容から「個別最適化の学び」についてはさらなる充実が求められることになると考えます。そのため、「学習支援ドリル」の活用については、各小・中学校が教育委員会に作成・提出する「届出教育課程」の中の「指導の重点」といった項目において、指導の具体を明記させるなどして、各学校における実践的な指導の展開を明らかにさせるような取組を期待します。また、「学習支援ドリル」を活用した学びがどの程度行われているのか、また、「学習支援ドリル」の効果的な活用の取組としてどのような事例があるのかなどを把握するとともに、市内の小・中学校で活用事例を共有して、児童・生徒の学習の進度や理解度に応じた学びの充実を図っていくような取組も併せて行っていくことを期待します。

No. 10 部活動の推進（部活動の地域展開）

中学校の部活動の地域展開（地域移行）について、国は、「令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 年間で改革推進期間と位置付けて、休日の学校部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めること」「令和 8 年度から令和 13 年度の次期改革期間内には、休日については全ての学校部活動において地域展開（地域移行）を目指すこと」という方向性を示しています。

このことを踏まえて、令和 6 年度中に、中学校部活動の受け入れ可能な団体を集約し、一部の部活動については試行するための準備ができたことは素晴らしいことです。令和 7

年度から、学校部活動は「TEAMはむら」として、地域展開をしていくというコンセプトも、子供たち、保護者、学校関係者にとって分かりやすいものになっていると考えます。

今後は、試行する一部の部活動（3つの登録団体）の取組を通して、運営上の課題を明らかにして改善・充実を図るとともに、さらなる登録団体を拡充していくことを期待します。また、中学校の部活動の地域展開（地域移行）の取組の状況については、「市報」や「はむらの教育」等を通じて、市民に丁寧に情報提供することで理解啓発の充実を図り、令和13年度までの地域展開の道筋を示していくことを期待します。

No. 12 学校ホームページのリニューアル（学校ホームページの作成・管理のシステム化）

新規事業として、学校の負担軽減や利便性の向上等の観点から、市と同様のコンテンツマネジメントシステムを導入し、学校ホームページのリニューアルが行われました。学校のホームページは、子供、保護者、地域の方に、学校の教育活動の様子をタイムリーに届けていくことに、その役割があります。そのため、ホームページを定期的に更新していくことが各学校に求められるとともに、その更新の頻度や状況等について教育委員会としても確認し、指導・助言していく必要があると考えます。

また、日々の「閲覧数」も見える化できるようになると、各学校のホームページの更新のモチベーションも持続されると考えるため、そのようなシステムにするための改善・充実についての検討をお願いします。

No. 15 教育相談体制の充実（生活アンケートの活用）

本事業は、児童・生徒の不登校等の未然防止・早期対応を図るためのものです。令和5年度は、児童・生徒に配備された一人一台端末を活用して「心のアンケート」を実施したものの、アンケート結果を年度内に学校へ提供できず、翌年度の提供となってしまったため、評価（達成度）が「C」とのことでした。そのため、令和6年度は、実施体制を教育相談室から学校教育課に改め、アンケートの実施から内容の把握・対応までの迅速化を図ったことで、評価（達成度）が「A」と好転したことは素晴らしいことです。

全児童・生徒の「心のアンケート」の内容を紙媒体で行い、その記述内容等から個々の児童・生徒の不安や悩みを迅速に把握し、早期対応を図ることの第一義的な責任は学校にあることを常に発信し、着実に対応が行われるような働きかけをお願いします。また、児童・生徒に配備された一人一台端末を活用しての「心のアンケート」の取組を、紙媒体のものと併用していくシステムについても、改めて検討していくことを期待します。

2 地域資源の活用

No. 18 人材バンク登録制度の活用（「はむら人ネットガイド」の発行）

令和6年度の取組実績では、「はむら人ネットガイド」の発行（1回）はできたものの、新規登録者は0人、人材バンクの利用（問い合わせ）は0件という結果から、評価（達成度）が「D」となっています。

本事業については、改めて事業目的を確認し、人材バンクの利用についての啓発を図っていく広報活動をどのように行っていくかということを検討していただきたいと考えます。そのため、No. 54「出前講座の活用促進」と関連させて、例えば、「はむらの教育」への紹介記事の掲載や町内会・自治会等への人材リストの配布など、市ホームページと併用しながら具体的な取組を行っていくことを期待します。

No. 27 展示説明員の育成(玉川上水の歴史と役割について展示説明、展示説明員の能力向上)

玉川上水は、国指定の文化財として大変貴重な遺跡です。都内の学校では、小学校第4学年の社会科の内容「地域の発展に尽くした先人の働き」を学習する際に、「玉川上水と玉川兄弟」を教材として扱う場合が多いことから、郷土博物館への社会科見学もその学習の一環として訪れていることが伺われます。しかし、令和4年度からの社会科見学校数をしてみると、令和4年度が129校、令和5年度が111校、令和6年度が98校と年々来校数が減少しています。

今後、玉川上水を直接見学する学校数が増えて回復することを期待しますが、もし、来校数が減少した場合の対応策として、児童一人一人に端末が配備されていることから、オンラインによる見学活動など、現地に来なくても、玉川上水を身近に感じ、学ぶことができるような取組について研究していただきたいです。

3 多様な学習の展開

No. 40 家読(うちどく)事業等の実施(「家読(うちどく)」の推進「ブックスタート事業の実施」)

ブックスタート事業は、絵本を通して、親子が言葉と心を通わすかけがえのないひとときをもつことを応援する事業です。その事業の認知度を捉えるために、図書館アンケートにおいて、「家読(うちどく)」に関するアンケートを実施した結果、「この事業について知らなかった」という回答は約60%であったとのことです。このように、事業の改善・充実を図っていくためにも、市民の認知度がどの程度なのかという調査を行ったことは価値あることです。

今後は、その結果を踏まえて、「家読(うちどく)」の事業についての理解・啓発を図るためのBCG接種時の絵本の読み聞かせの活動は継続していただくとともに、未就学児の保護者等への理解・啓発を行うために、幼稚園や保育園と連携しながら理解・啓発する取組について検討していただきたいです。

4 生涯学習の支援

No. 51 団体等の活動情報の収集・提供(「市民活動団体ガイド、団体・サークルガイドの発行・配布」)

市民一人一人が生涯にわたって学習することができる環境を整えるための取組の一環として、「市民活動団体ガイド」「団体・サークルガイド」の発行・配布の取組は大切です。さらに、生涯にわたって学習することへの興味・関心を高めていくためにも、小・中学生の段階から、そのような団体等のサークル活動に触れ、参加する機会をつくっていくことが求められると考えます。

そのため、小・中学生が参加できる団体をピックアップして、既存のガイドの「ジュニア版(チラシ)」を作成して各小・中学校に配布し、生涯学習への基盤となるような取組の工夫を期待します。また、このことは、No. 10 部活動の推進(部活動の地域展開)の事業とも関連させ、部活動の受け皿となる団体の拡充・整備につなげていけるか検討していただきたいです。

次に、事務事業の成果や課題を明らかにして、今後の対応の方向性を考えていく際に留意していただきたいことを述べます。

昨年度に意見した「事務事業の評価(達成度)に関わる『目標(指標)』の設定の仕方」についてです。令和5年度と令和6年度の報告書の内容を比較すると、例えば、No. 44「国際理解や多文化共生に関する講座等の実施」や、No. 45「高齢者の学習機会の充実と自主グループ活動の支援」では、「事務事業の評価(達成度)に関わる『目標(指標)』が令和5年度は「参加者の満足度 80%以上」という設定だけでしたが、令和6年度は、これに加えて、「定員に対する参加者 80%以上」という『目標(指標)』を加えており、多面的に事業評価を行おうとする改善の方向性が見て取れます。引き続き、事業の成果や効果といったことを評価するための『目標(指標)の設定』の仕方について検討していただきます。

令和5年度と令和6年度の報告書の内容を比較する中で、令和5年度の「課題・対応」に書かれている内容について、令和6年度にどのように取り組まれたのかを明らかにしていただきたいものがあります。例えば、令和5年度のNo. 39「図書館資料活用の推進」では、「課題・対応」について、「図書館からの情報発信については、図書館システムの更改を控え、LINE 連携などの ICT の活用など図書館 DX を進めていく。あわせて、メールマガジンの登録者数増のために登録につながる二次元コード記載のあるチラシ等の配布を進めていく」と次年度の改善に向けた対応策が具体的に書かれています。

こうした課題の改善に向けた対応策について、令和6年度にどのように取り組んだのかということも、例えば、「成果・効果」の欄に付記するなどして「P-D-C-A」の取組が分かるようにしていくことも検討していただき、常に市民の信託に応える「事務事業の点検及び評価」の充実につなげていくことを期待しています。

八 木 橋 宏 勇 （杏林大学外国語学部 教授）

本点検及び評価の対象となる事業は、令和6年度に実施された60の事務事業です。令和3年度は41事業、令和4年度は55事業、令和5年度は58事業でしたから、未曾有の有事であったコロナ禍を経て、事業数で見れば羽村市教育委員会の教育施策は順調に復調してきたと言えます。令和6年度の本報告書には、羽村市教育委員会「教育目標」を実現するため、「羽村市教育委員会の基本方針」を基に定められた4つの「基本施策」が方向性1・2・3・4として掲げられています。それぞれの事業は実情に合わせて順調に展開されており、総じていえば大いに評価されるべき成果を上げていると思われます。以下、主として質的な面に視座を据え、4つの方向性ごとにいくつかの事務事業について意見を述べます。

1 子どもたちの育成

No. 1 子育て関係講座等の充実

この事業は「親子で学ぼう！家庭での防災・安全対策」をテーマに実施された家庭教育セミナー（子育て講座）です。定員20組に対し11組の参加があり、満足度は大人63%、子ども55%でした。「“うちの子 勉強しないんですけど” への処方箋」と題した前年度のセミナーは定員180人に対し74人の参加、満足度は98%でした。参加者の評価が下がったように感じられますが、テーマおよび実施規模の想定が大きく異なることから、単純には比較し得ないと考えられます。ニーズに合わせたテーマ設定は求められるところではありますが、事業の趣旨に照らして必要と考えられる内容は積極的に実施されるべきものと思われます。一方で、対象となる保護者（および、テーマによっては子ども）が参加しやすい開催時期・曜日のさらなる検討に加え、より柔軟かつ多様な参加形態を選択できるような工夫も必要です。前年度にも書き添えましたが、例えばオンライン配信を導入することは、空間的・時間的制約を大幅に緩和させることができるため、参加機会の拡充に資すると考えます。

No. 5 道徳教育の充実

本事業では、道徳教育の充実と（保護者を含む）地域の理解・連携を促進させることを目的に、道徳授業地区公開講座が開催されました。授業の公開のみならず、保護者や地域の方々との意見交換も実施されたことにより、授業力の向上はもとより、道徳授業の理解促進ならびに地域でともに暮らす大人たちの道徳教育への関心を深化させるきっかけも提供しうる取り組みであったと言えます。道徳は、一朝一夕に涵養されるものではなく、また経験基盤という性質が色濃いため、地域社会が手を携えて子どもたちを教養育むことが望ましいと言えます。学校・家庭・地域社会が一体となって道徳教育が効果的に展開されるように、地域的特性も踏まえた実施のさらなる工夫が期待されます。

No. 12 学校ホームページのリニューアル

羽村市内の小・中学校すべてのホームページが全面リニューアルされ、利便性の向上、ユニバーサルデザインの確保、セキュリティの強化が達成されました。同時に、市と同様のコンテンツマネジメントシステムを導入したことにより、ホームページ管理・運営に際

して市のサポートを得られる環境が整備されたことは高く評価できます。特筆すべきは、(限定的ではあるものの)「多言語化」、「読み上げ機能」の設置、「やさしい日本語」への変換にも対応していることです。これらは、外国籍居住者の比率が高い地域的特性に適した取り組みになっていると感じられました。一方で、翻訳対象ページの拡充や翻訳精度の向上、セキュリティのみならずプライバシーポリシーの整備が必要であるほか、SNS 全盛期とも言える現在においてホームページにどのような役割を担わせ、いかなる情報を発信しようとしているのかを明確にする必要があると思われました。また、外国籍居住者が情報弱者に陥らないような情報提供の工夫がより一層求められているなど、対応すべき課題も多分に残されています。今後は順次コンテンツそのものの質をさらに高めて行くことが期待されます。

2 地域資源の活用

No. 17 市内事業所等と協力した社会体験事業の実施

本事業は、市内事業者の協力のもと、「わが街羽村を知るシリーズ 出前講座篇」として実施されました。定員に対する申込者／参加者の割合は56%（前年は96.6%）、満足度は75%（前年は87%）と前年よりも達成度が低下し「B」評価となっています。前年も指摘いたしましたが、「このような事業は単発的に実施されることが多いように思われますが、『市内事業者を知ることから地域雇用につなげていく』ことも企図されていることから、地域資源の活用と雇用がリンクされており、分野横断的な取り組みとして継続的な実施」が望ましいと思われます。より成果を高めるために、例えば高等学校の「総合的な探究の時間」と連携をしたり、マーケティングの要素を多分に含む企画・立案・効果測定に際しては包括的な連携協定を締結している大学に専門知識の提供や協力を求めたりするなど、望む結果を手繰り寄せられるようなさらなる工夫が求められていると考えます。

No. 18 人材バンク登録制度の活用

本事業について、公式ホームページには「学ぶ意欲のある市民のみなさまに、生涯学習に関する特技や技能、知識などを提供したいという方を紹介するための人材バンク事業で、登録している指導者や協力者の情報を提供しています」と記されています。参加者が多く集まっている事業もあることから「学ぶ意欲のある市民は数多くいる」と考えられる一方、新規登録者も利用者もいなかったことから本事業は「D」評価となっています。本人材バンク登録制度が活用されなかった理由を精査することはもちろんですが、他の事業においてすでに数多くの学びの機会が提供されていることから、人材バンクという制度そのもののニーズを検証し、今後も継続して事業展開する必要があるか否かを適切に判断することが求められていると思料いたします。

No. 25 文化財に関する情報提供

文化財説明版の修繕、『羽村市郷土博物館紀要』の発行、「東京文化財ウィーク」「多摩郷土誌フェア」への参加、郷土博物館公式X等を通して、市内の文化財に関する情報発信が積極的に行われました。企画展・体験学習会等、郷土博物館への入館者数が非常に多いという事実は、多様な媒体を通じた情報提供が一定程度成果を上げていることの証左であると考えられます。一方で、令和6年度の報告書においては「課題・対応」として「電子

化を含め今後の紀要の在り方について、検討する」と記されていたものの、本報告書では紀要の電子化についてはまったく言及されていないようです。No. 26の「課題・対応」には、『羽村市郷土博物館紀要』は「市民等への情報発信」の一環として発行されていることが明記されています。懸念される諸問題があることは理解できますが、昨今の一般的な動向を勘案すると、同紀要はリポジトリ化しても良い時期にあるように感じられます。昨年度の報告書にも記しましたが、引き継ぐべきことは引き継ぎながらも、持続的な郷土研究およびその成果の発信に向け、時代の流れに即した検討を重ね、課題克服を目指していただければと思います。

3 多様な学習の展開

No. 28 芸術文化の鑑賞機会の提供 / No. 34 スポーツ活動の機会の提供

芸術文化の鑑賞機会ならびにスポーツ活動の機会は、個人では実現が不可能と思われる企画が目白押しであり、教育委員会が主導するにふさわしい非常に意義のある実施事業であると思われました。個々の取り組み実績を指標に照らして見てみると、参加率が思わしくないように判断される企画も見受けられますが、嗜好には個人差があるものであり、様々なニーズに応えられるよう多様な機会を提供し続けることは、数値的評価とは相容れない価値を見出すことができると考えます。満足度の向上は企図すべきではありますが、参加者数・参加率では評価しきれない意義も尊重し、魅力的な事業が今後も継続的に提供され続けることを期待いたします。

No. 41 図書館資料活用の促進

図書館資料のさらなる活用を企図し、工夫を凝らした多様な取り組みを継続的に展開していることは大いに評価されるべきことと思います。一方で、インターネットやスマートフォンの普及により、「欲しい情報にピンポイントでアクセスできる」という利便性が高い環境が身近に整備されているがゆえに、例えば「調べ物をする」という図書館の利用目的に関しては、さらなるニーズの掘り起こしには難儀することが予想されます。したがって、「時間をかけてじっくりと文献に向き合う」ことに価値を見出すことができるような「動機づけを喚起する取り組み」の実施も望まれていると思料いたします。例えば、図書館に配架されている辞書類は、初めから「開いて並べておく」ことで、棚から持ち出す手間や面倒をかけずにすぐに眺めることができ、「辞書を読む」きっかけを提供しうる工夫になると思われます。

4 生涯学習の支援

No. 57 学校施設の計画的な改修工事の実施

本事業は、学校施設の改修等を行うことにより、適正な維持・管理を図り「羽村市学校施設長寿命化計画」の推進に資する取り組みと言えます。前年度は一部の工事で学校運営に影響を及ぼす事態が生じ「B」評価となっていましたが、関係部署、工事契約業者等との連携を強化し、工事の進捗管理を徹底することで今回は「A」評価に改善されています。児童・生徒が日常的に身を置く学び舎は、学習効果を高めるためにも安心と快適が一定水準担保されている必要があります。本事業の堅実な実施により、児童・生徒の教育環境が

改善されるほか、災害時避難所としての機能強化も図ることができるため、事業の推進をより一層加速させる必要があると考えます。

以上、4つの方向性の中から10の事務事業を取り上げて意見を述べました。総じて、各事業は所管による綿密な事業計画に則り、適正に実施されてきたと評価できます。一方で、令和4年度ならびに令和5年度の報告書で指摘した以下の点はあらためて十分な検証と対応が求められていると考えます。事務事業の評価が個々の取り組みの範囲内で行われるにとどまっており、「羽村市教育委員会教育目標」という上位目標に照らした意義・成果が示されていないためです。

本点検・評価の対象となっている事務事業は、いずれも羽村市教育委員会教育目標の達成に必要な取り組みであることは確かですが、「個々の事業が単発の取り組みに終始していないか」、「個々の事業が羽村市教育委員会の目標達成にどれほど寄与したか」を自律的に検証し、今後の施策に反映させていく仕組みの整備も重要であると考えられます。これにより、個々の事務事業がその範囲に留まることを回避し、他の事業と有機的に関連付けられることにより、その成果・効果が全体的な評価へと昇華させることが期待されます。

（「令和5年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価（令和4年度分）報告書」、56頁）

令和6年度の取り組みには、新規事業が3件含まれており、必要に応じた事業展開が適切になされていると判断できます。「教育目標の達成」を目指し、より魅力的な事務事業が継続的に実施されるように、質・量の両面から評価をさらに高められますよう期待いたします。

5 教育委員会の活動の状況 教育委員会の審議事項等

区分（議：議案 協：協議 報：諸報告等）

会議名	開催日		審議事項等
令和6年第5回 教育委員会 (定例会)	令和6年4月23日	議 議 報 報 報 報	羽村市立学校における学校運営協議会委員の任命について 羽村市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 教育委員会へ提出された陳情等について 羽村市社会教育委員の会議からの答申について 羽村市教育委員会共催・後援申請事業について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第6回 教育委員会 (定例会)	令和6年5月21日	議 議 議 報 報 報	令和6年度羽村市一般会計補正予算（第1号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市特別支援教育就学支援委員会委員の委嘱及び任命について 羽村市図書館協議会委員の委嘱について 令和7年度使用羽村市立小学校並びに羽村市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択事務について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第7回 教育委員会 (定例会)	令和6年6月18日	議 議 議 議 報 報	羽村市社会教育関係団体補助金交付規則の一部を改正する規則 羽村市生涯学習センターゆとりぎ管理運営条例施行規則の一部を改正する規則 羽村市体育館管理運営条例施行規則の一部を改正する規則 羽村市教育委員会会計年度任用職員の任用に関する規程の一部を改正する規程 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第8回 教育委員会 (定例会)	令和6年7月16日	議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔「教師用指導書買入れの追認について」の意見聴取について〕 教職員等の人事について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和6年第9回 教育委員会 (臨時会)	令和6年8月6日	議 議 報	令和7年度使用中学校教科用図書の採択について 令和7年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について 教育委員会に提出された陳情等について
令和6年第10回 教育委員会 (定例会)	令和6年8月20日	議 議 議 議 議 議 議 議 報 報	令和6年度羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に点検及び評価について 損害賠償額の決定に係る意見聴取 令和6年度羽村市一般会計補正予算（第2号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則について 羽村市立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則について 羽村市生涯学習センターゆとろぎ管理運営条例施行規則の一部を改正する規則について 羽村市体育館管理運営条例施行規則の一部を改正する規則について 羽村市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 図書館協議会委員の委嘱について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第11回 教育委員会 (定例会)	令和6年9月17日	議 報 報	損害賠償額の決定に係る意見聴取 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第12回 教育委員会 (定例会)	令和6年10月15日	議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和6年度羽村市一般会計補正予算（第3号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について〕 令和5年度図書館評価について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和6年第13回 教育委員会 (定例会)	令和6年11月19日	議 議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和6年度羽村市一般会計補正予算（第5号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について〕 令和6年度羽村市一般会計補正予算（第6号）のうち教育費に係る部分の意見聴取について 羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例に係る意見聴取について 令和7年羽村市二十歳のつどいについて 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和6年第14回 教育委員会 (定例会)	令和6年12月17日	議 報 報	羽村市体育館管理運営条例施行規則の一部を改正する規則について 教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和7年第1回 教育委員会 (定例会)	令和7年1月16日	報 報	教育長報告 教育委員会委員活動報告
令和7年第2回 教育委員会 (臨時会)	令和7年2月4日	議	羽村市立小中学校管理職の人事について
令和7年第3回 教育委員会 (定例会)	令和7年2月18日	議 議 議 議 報 報 報	専決処分の承認を求めることについて 〔令和6年度羽村市一般会計補正予算（第8号）のうち教育費に係る部分の意見聴取〕 令和6年度羽村市一般会計補正予算（第9号）のうち教育費に係る部分の意見聴取 令和7年度羽村市教育委員会の教育目標について 令和7年度羽村市一般会計予算のうち教育費に係る部分の意見聴取 第六次羽村市長期総合計画 前期基本計画 令和7年度実施計画・予算（概要説明）について 教育長報告 教育委員会委員活動報告

会議名	開催日		審議事項等
令和7年第4回 教育委員会 (定例会)	令和7年3月25日	議	第3次羽村市小中一貫教育基本計画の計画期間延長について
		議	羽村市立学校学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		議	羽村市立学校における学校運営協議会委員の任命について
		議	羽村市スポーツ推進委員の委嘱について
		議	教育委員会職員等の人事について
		報	教育長報告
		報	教育委員会委員活動報告

教育委員会委員の主な活動報告

年月	活動内容	会場
令和6年4月	理事者、教育委員会委員及び教育委員会管理職と学校管理職との 顔合わせ式 教育長 訓示 新規採用教職員辞令伝達式 第55回羽村市総合スポーツ大会総合開会式 兼第77回都民体育大会羽村市結団式 小学校入学式 中学校入学式 第5回教育委員会(定例会) 東京都市町村教育委員会連合会第1回理事会	特別会議室 特別会議室 大会議室 スポーツセンター 各小学校 各中学校 特別会議室 東京自治会館
令和6年5月	羽村市スポーツ協会通常総会 第6回教育委員会(定例会) 東京都市町村教育委員会連合会 第68回定期総会 武蔵野小学校運動会 羽村市文化協会総会 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会 及び研修会	ゆとりぎ 特別会議室 東京自治会館 武蔵野小学校 ゆとりぎ 茨城県古河市 イーエスはなも 体育館
令和6年6月	教育委員会学校訪問① 第7回教育委員会(定例会) 教育委員会学校訪問② 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会) 教育委員会学校訪問③	羽村第一中学校 特別会議室 武蔵野小学校 第2給食センター 武蔵野小学校
令和6年7月	社会を明るくする運動 教育委員会学校訪問④ 教育委員会学校訪問⑤ 教育委員会学校訪問⑥ 第8回教育委員会(定例会)	羽村駅・小作駅 羽村第三中学校 栄小学校 羽村第二中学校 特別会議室
令和6年8月	第9回教育委員会(臨時会) 第10回教育委員会(定例会) 東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会・理事研修会	大会議室 特別会議室 東京自治会館
令和6年9月	第11回教育委員会(定例会) 佐々蔚先生秋彼岸お墓参り 教育委員会学校訪問⑦ 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会)	特別会議室 富士見霊園 松林小学校 第2学校給食センター

年月	活動内容	会場
令和6年10月	教育委員会委員辞令交付 東京都市町村教育委員会連合会第1回研修会 第55回羽村市文化祭オープニングイベント 第1回市民スポーツまつり 第12回教育委員会(定例会) 青少年問題協議会 松林小学校 ガチャプロジェクト授業参観 東京都市町村教育委員会連合会第1ブロック研修会 教育委員会学校訪問⑧	羽村市役所(市長室) 東京自治会館 ゆとろぎ S&Dスポーツパーク富士見 特別会議室 特別会議室 松林小学校 青梅市役所 富士見小学校
令和6年11月	小中一貫教育 人間学 羽村第三中学校区 仕事調べ報告会 教育委員会学校訪問⑨ 教育委員会学校訪問⑩ 青少年健全育成の日事業 第13回教育委員会(定例会) 栄小学校展覧会 小作台小作品展 武蔵野小学習発表会 羽村東小音楽会	羽村第三中学校 小作台小学校 羽村東小学校 ゆとろぎ 特別会議室 栄小学校 小作台小学校 武蔵野小学校 羽村東小学校
令和6年12月	はむらスポーツフェスティバル 義務教育学校視察 第14回教育委員会(定例会)	スポーツセンター 八王子市立いずみの森義務教育学校 特別会議室
令和7年1月	どんど焼き(青少年対策西地区委員会) 令和7年羽村市二十歳のつどい 令和6年度市町村教育委員会研究協議会 令和6年度市町村教育委員会連合会第3回理事会・第2回研修会 第1回教育委員会(定例会) 羽村・瑞穂地区学校給食組合教育委員会(定例会)	宮の下運動公園下多摩川河川敷 ゆとろぎ リモート参加 東京自治会館 特別会議室 第2給食センター
令和7年2月	第2回教育委員会(臨時会) 東京都教育委員会人尊教育推進校 研究発表会 子ども国際交流音楽祭 交流コンサート 第3回教育委員会(定例会) 令和6年度教育委員会表彰(式典) 東京都市町村教育委員会連合会第2回研修会	特別会議室 富士見小学校 ゆとろぎ 特別会議室 ゆとろぎ 東京自治会館

年月	活動内容	会場
令和7年3月	日野工業高等学園卒業式	日野自動車21世紀センター
	羽村第二中学校音楽会	ゆとろぎ
	羽村第三中学校合唱コンクール	ゆとろぎ
	第43回羽村市駅伝大会	富士見公園周辺
	佐々蔚先生春彼岸お墓参り	富士見霊園
	中学校卒業式	各中学校
	小学校卒業式	各小学校
	小中一貫教育基本計画説明	市役所202会議室
	第4回教育委員会(定例会)	特別会議室

教育委員会学校訪問

年月日	学校名	訪問内容	主な出席者
令和6年6月6日（木）	羽村第一中学校	・学校概要説明 ・授業参観（施設見学を含む） ・学校管理職との懇談会 ・給食指導見学・給食試食は1校のみ実施（羽村第二中学校）	教育長 教育委員会委員 教育委員会職員
6月25日（火）	武蔵野小学校		
6月27日（木）	羽村西小学校		
7月4日（木）	羽村第三中学校		
7月9日（火）	栄小学校		
7月11日（木）	羽村第二中学校		
9月25日（水）	松林小学校		
10月31日（木）	富士見小学校		
11月6日（水）	小作台小学校		
11月7日（木）	羽村東小学校		

資 料 編

1 根拠法令等

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

昭和31年法律162号

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（平成20年4月1日施行）

（平成27年4月1日改正）

羽村市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、羽村市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施するために必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるとおりとする。

- (1) 点検 個々の施策及び事業のこれまでの取組状況や成果について取りまとめることをいう。
- (2) 評価 個々の施策及び事業についての点検を踏まえ課題を検討するとともに、今後の取組の方向性を示すことをいう。

(対象)

第3条 点検・評価の対象は、毎年度策定する「羽村市教育委員会の教育目標」に定められた基本方針に基づく主要施策及び事業とする。

(点検・評価の実施)

第4条 点検・評価は、前条に規定する主要施策及び事業について毎年1回実施するものとする。

- 2 点検・評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者（以下「学識経験者」という。）の知見の活用を図るものとする。
- 3 前項に規定する知見の活用にあたっては、主要施策及び事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を聴取する機会を設けるものとする。
- 4 教育委員会において点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を作成し、羽村市議会へ提出する。この場合において、報告書は公表するものとする。

(点検・評価に関する有識者の設置)

第5条 前条第2項に規定する学識経験者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」（以下「有識者」という。）を置く。

- 2 有識者は、2人とする。
- 3 有識者は、教育委員会が依頼し、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 有識者が欠けた場合における補欠の有識者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 有識者に対して、予算の範囲内で謝礼を支払うものとする。

(庶務)

第6条 点検・評価に関する庶務は、教育委員会に関する事務を所掌する課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成20年11月1日から施行する。

付 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成27年6月5日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程の施行の際現に在職する教育長が地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。以下「改正法」という。）附則第2条第1項の場合においては、改正後の要綱の規定は適用せず、改正前の要綱の規定は、なおその効力を有する。

発行 羽村市教育委員会

編集 生涯学習部生涯学習総務課

〒205-8601

東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1

TEL 042-555-1111

FAX 042-578-0131

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>